
かすみがうら市まちづくりアンケート
調査結果

目次

1. アンケート調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の方法	1
(3) 回収状況	1
(4) 報告書の見方について	2
(5) クロス集計について	2
2. 調査結果	3
(1) 回答者の日常生活・行動について	3
(2) お住まいの地区の状況について	20
(3) かすみがうら市のまちづくりや都市構造について	29
(4) 主な自由記述	35
(5) 回答者の属性について	39

1. アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、かすみがうら市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定に向けて、地区別に市民の生活圏や行動パターンなどの生活実態を把握し、本市の新たな都市構造やそれを踏まえた都市機能誘導区域及び居住誘導区域を検討するにあたっての根拠となる基礎データや意向抽出を主な目的として実施したものです。

(2) 調査の方法

- ① 調査地域：かすみがうら市全域
- ② 調査対象：市内在住の18歳以上の男女
- ③ 対象者数：3,000人
- ④ 抽出方法：平成30年4月1日現在の住民基本台帳より、無作為に抽出
- ⑤ 調査方法：郵送による配布・回収
- ⑥ 調査期間：平成30年11月19日～平成30年12月3日（集計は7日までに到着分）

(3) 回収状況

- ① 票 本 数：1,215票
- ② 有効回収票：1,215票
- ③ 有効回収率：40.5%
- ④ 年代別・居住地区（小学校区）別の回答状況：

		総数	居住地区								無回答
			1. 霞ヶ浦南小学校区	2. 霞ヶ浦北小学校区	3. 志筑小学校区	4. 新治小学校区	5. 七会小学校区	6. 上佐谷小学校区	7. 下稲吉小学校区	8. 下稲吉東小学校区	
総数		1,215	253	161	63	70	62	15	350	190	51
年 齢	1. 10歳代	4	0	1	1	0	0	0	0	2	0
	2. 20歳代	30	4	1	0	0	0	0	15	8	2
	3. 30歳代	87	10	5	3	6	5	0	40	15	3
	4. 40歳代	153	32	9	5	5	5	2	60	35	0
	5. 50歳代	186	37	29	11	9	8	2	55	31	4
	6. 60～64歳	152	36	14	10	17	12	2	40	17	4
	7. 65～69歳	190	49	41	10	11	12	2	39	23	3
	8. 70歳以上	400	85	60	23	22	19	7	101	58	25
無回答		13	0	1	0	0	1	0	0	1	10

(4) 報告書の見方について

- ① 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合があります。
- ② 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100%にならない場合があります。

(5) クロス集計について

本調査のクロス集計では、居住地区及び年齢に関して、それぞれの特性を比較・検討を行うことを目的に、いくつかのまとまりに分類し集計を行っています。下記に、居住地区及び年齢層のクロス集計に用いた区分を示します。

霞ヶ浦地区 (n=414)	1. 霞ヶ浦南小学校区	253
	2. 霞ヶ浦北小学校区	161
千代田地区 (n=750)	3. 志筑小学校区	63
	4. 新治小学校区	70
	5. 七会小学校区	62
	6. 上佐谷小学校区	15
神立駅周辺 (n=540)	7. 下稲吉小学校区	350
	8. 下稲吉東小学校区	190

若年層 (n=274)	1. 10歳代	4
	2. 20歳代	30
	3. 30歳代	87
	4. 40歳代	153
中高年層 (n=338)	5. 50歳代	186
	6. 60～64歳	152
高齢者層 (n=590)	7. 65～69歳	190
	8. 70歳以上	400
子育て世帯 (n=334)	1. 乳幼児・未就学児	101
	2. 小学生・中学生	188
	3. 高校生・大学生	130
高齢者世帯 (n=616)	4. 65～74歳以下の方	347
	5. 75歳以上の方	323
単身世帯・核家族 (n=365)	6. 1～5に該当する者はいない	365

2. 調査結果

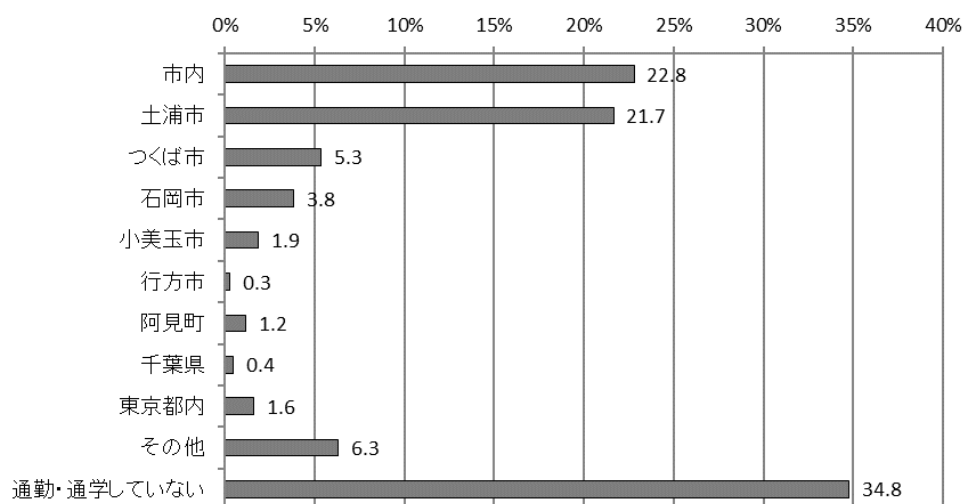
(1) 回答者の日常生活・行動について

問1-1 あなたの通勤・通学先について、あてはまる番号を1つ選んで○をしてください。

通勤・通学については、「市内」が22.8%、「土浦市」が21.7%、「つくば市」が5.3%であり、市外への通勤・通学を行う傾向がある。

また地区別・年齢層別にみても、全体と同様に市外への通勤・通学を行う傾向がある。

■通勤・通学先（単純集計）

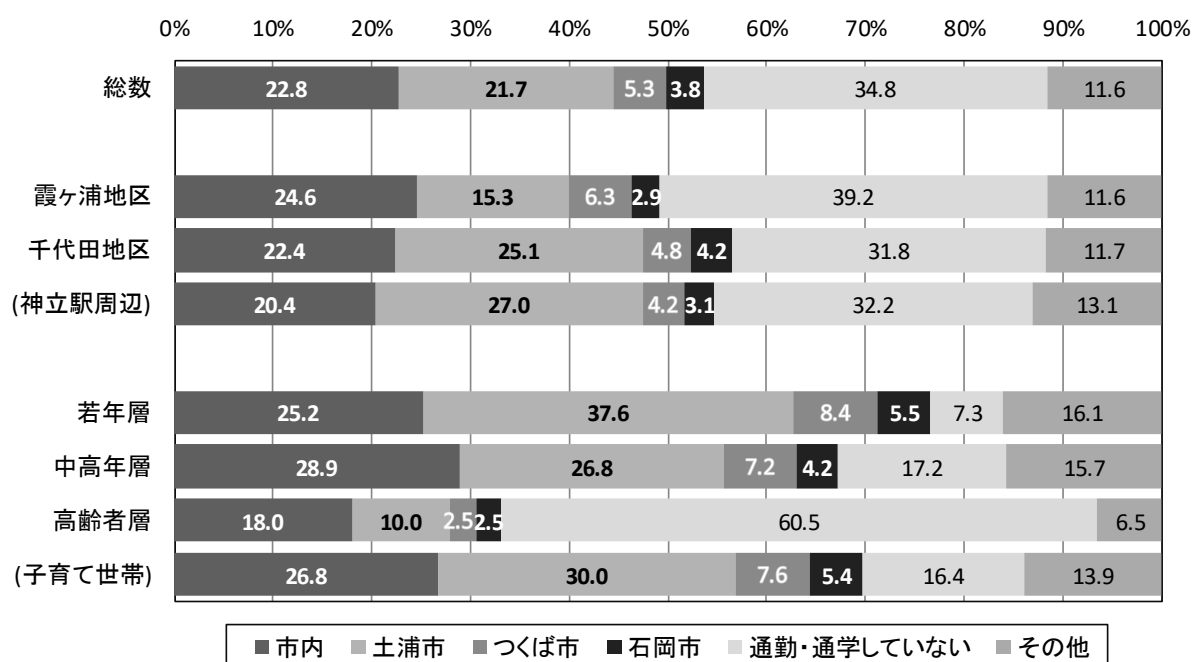


(その他)

・水戸市 (13 件) ・牛久市 (4 件) ・龍ヶ崎市 (4 件)

等

■通勤・通学先（クロス集計）



※各上位5項目以外はその他としてまとめた。

問 1-2 前問で 1 ～ 10 を回答された方にお聞きします。

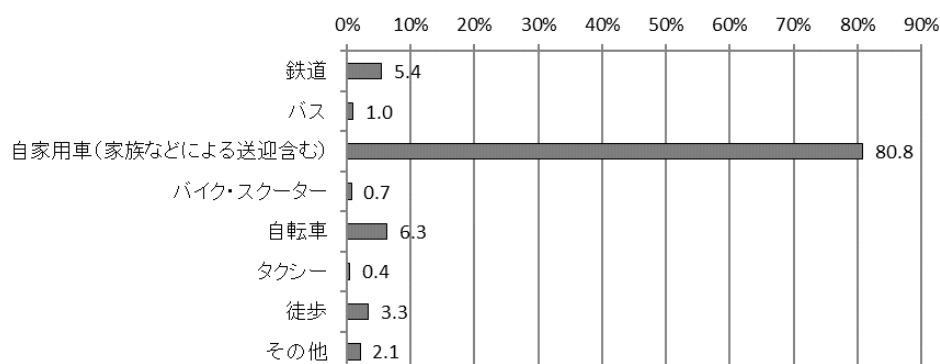
通勤・通学の際、最も利用する交通手段を 1 つ選んで○をしてください。

通勤・通学を行っている方の交通手段については、「自家用車」が 80.8%と最も多く、次いで「自転車」が 6.3%、「鉄道」が 5.4%の順となっており、公共交通機関の利用割合は低い。

年齢層別にみると、いずれの年齢層においても「自家用車」の利用が最も多く、次いで中高年層で「鉄道」、若年層・高齢者層・子育て世代で「自転車」の利用が続く傾向にある。

地区別にみると、いずれの地区においても「自家用車」の利用が最も多く、次いで霞ヶ浦地区では「鉄道」、千代田地区・神立駅周辺では「自転車」の利用が続く傾向にある。

■通勤・通学先への交通手段（単純集計）

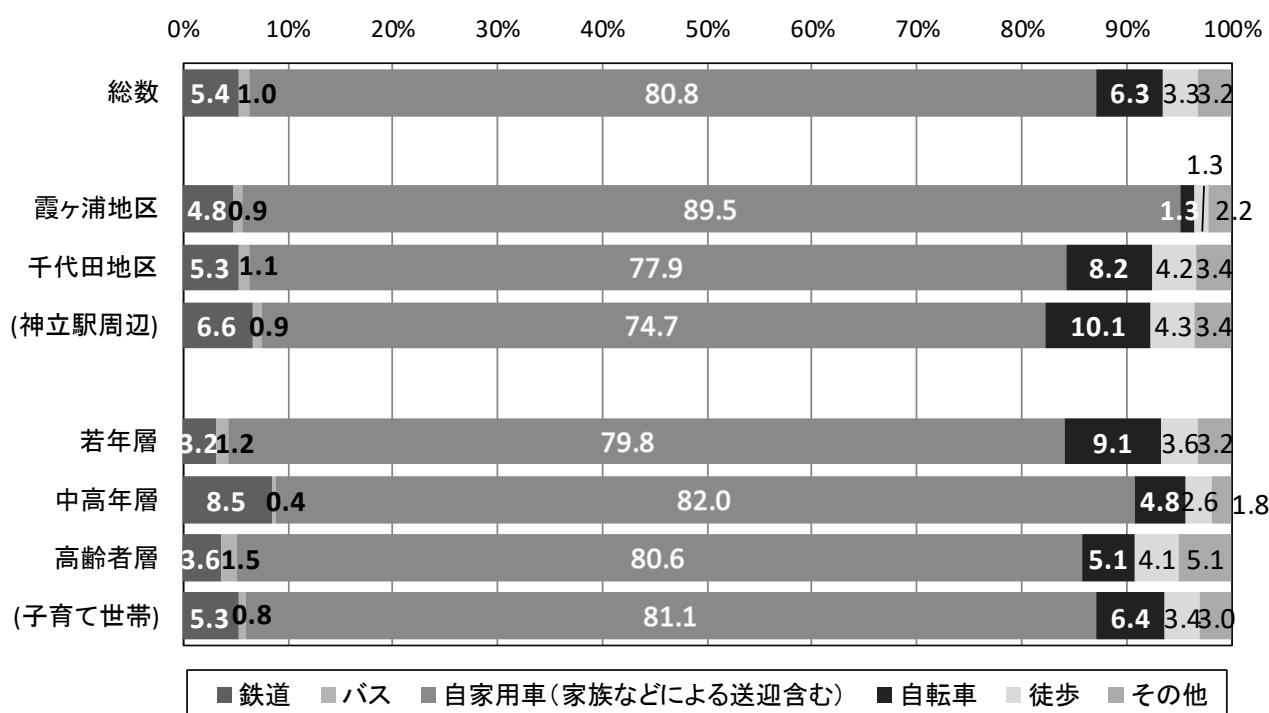


(その他)

・社用車 (6 件)

等

■通勤・通学先への交通手段（クロス集計）



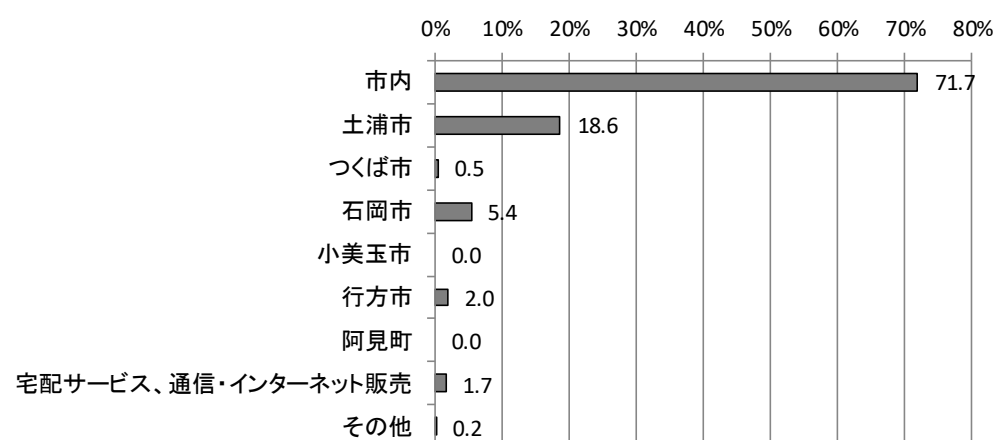
※各上位 5 項目以外はその他としてまとめた。

問 1-3 あなたは食料品や日用雑貨品などの日用品について、主にどこで買い物をされていますか。
最も利用される買い物先の市町村の番号を順に3つまで選んで表に記入してください。また、
最もよく行く店舗の名称も記入してください。

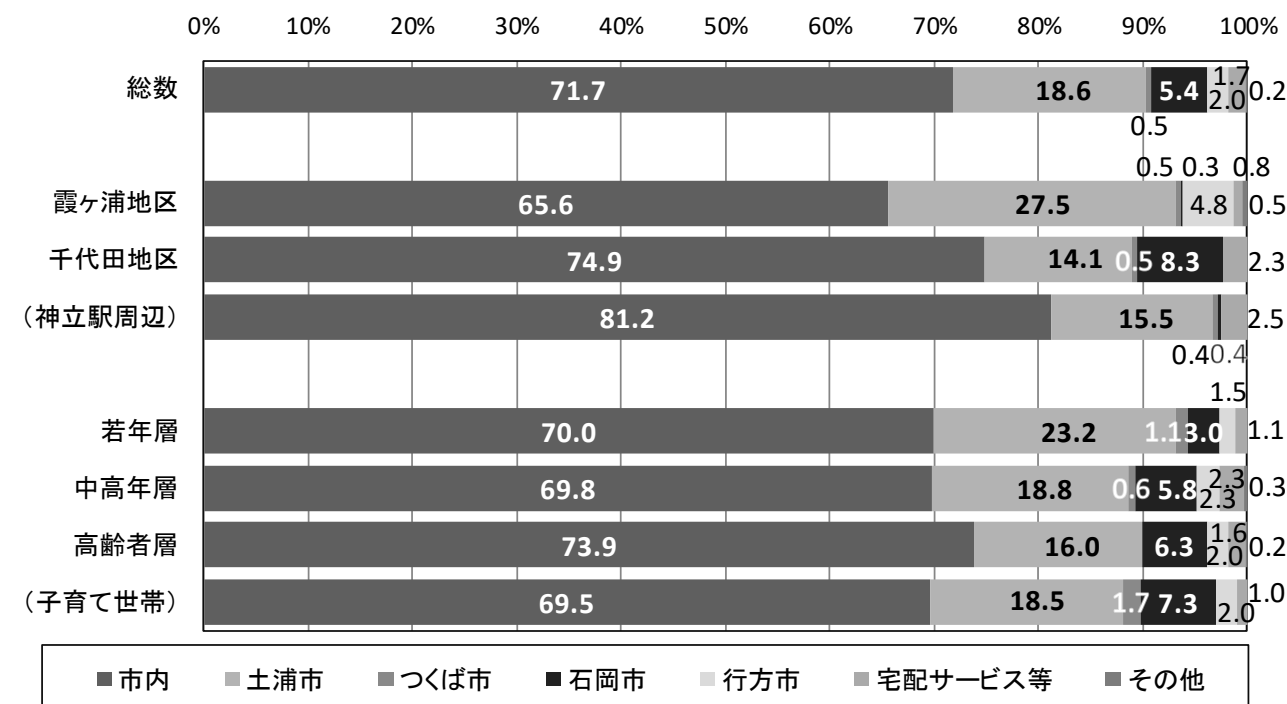
最もよく行く日用品の買い物先については、「市内」が 71.7%と最も多く、次いで土浦市が 18.6%、「石岡市」が 5.4%の順となっている。クロス集計の結果では、全体の傾向と異なり霞ヶ浦地区では「石岡市」より「行方市」に買い物に行く傾向がある。3位までを含めた合計をみると、「市内」及び「土浦市」は8割前後の住民が買い物に行く傾向にあり、また「つくば市」が3位に挙がっている。

最もよく行く店舗では、千代田地区に立地する店舗が多いものの、日常的に他市に買い物に向かっている傾向にある。

■最もよく行く日用品の買い物先（単純集計）

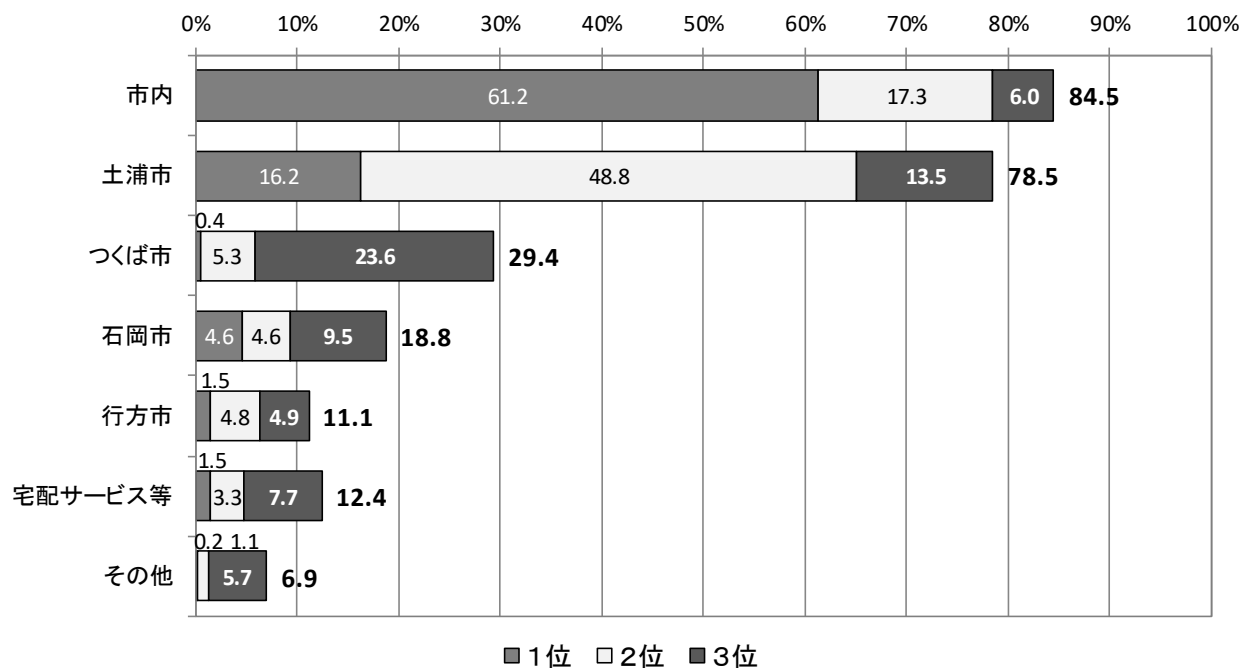


■最もよく行く日用品の買い物先（クロス集計）



※各上位5項目以外はその他としてまとめた。

■日用品の買い物先の合計（単純集計）



※各上位 5 項目以外はその他としてまとめた。

■最もよく行く店舗（50 件以上）

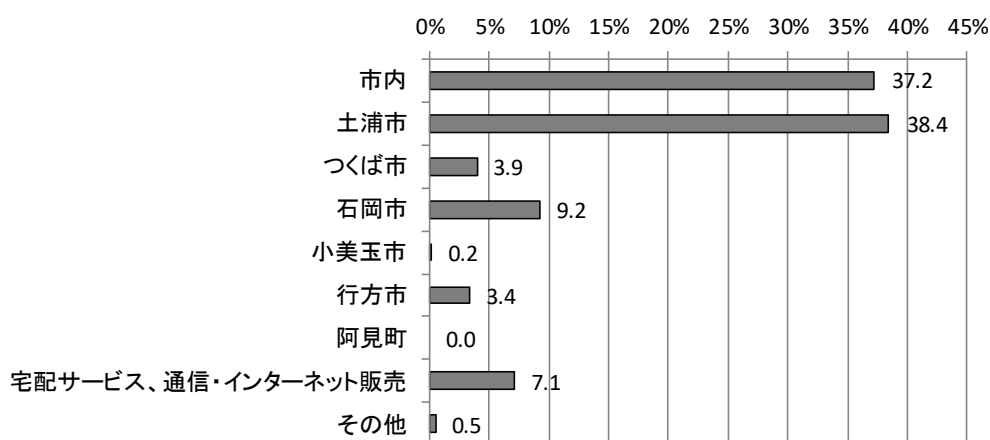
- | | |
|------------------------|---------------------|
| ・カスミ千代田店（237 件） | ・セイミヤかすみがうら店（184 件） |
| ・ヨークベニマル千代田モール店（165 件） | ・スーパーまるも千代田店（98 件） |
| ・ヒーロー千代田店（59 件） | ・スーパータイヨー石岡店（57 件） |
- 等

問 1-4 あなたは日用品以外（家具、電化製品など）について、主にどこで買い物をされていますか。
あてはまる番号を3つまで選んで表に記入してください。また、最もよく行く店舗の名称も記入してください。

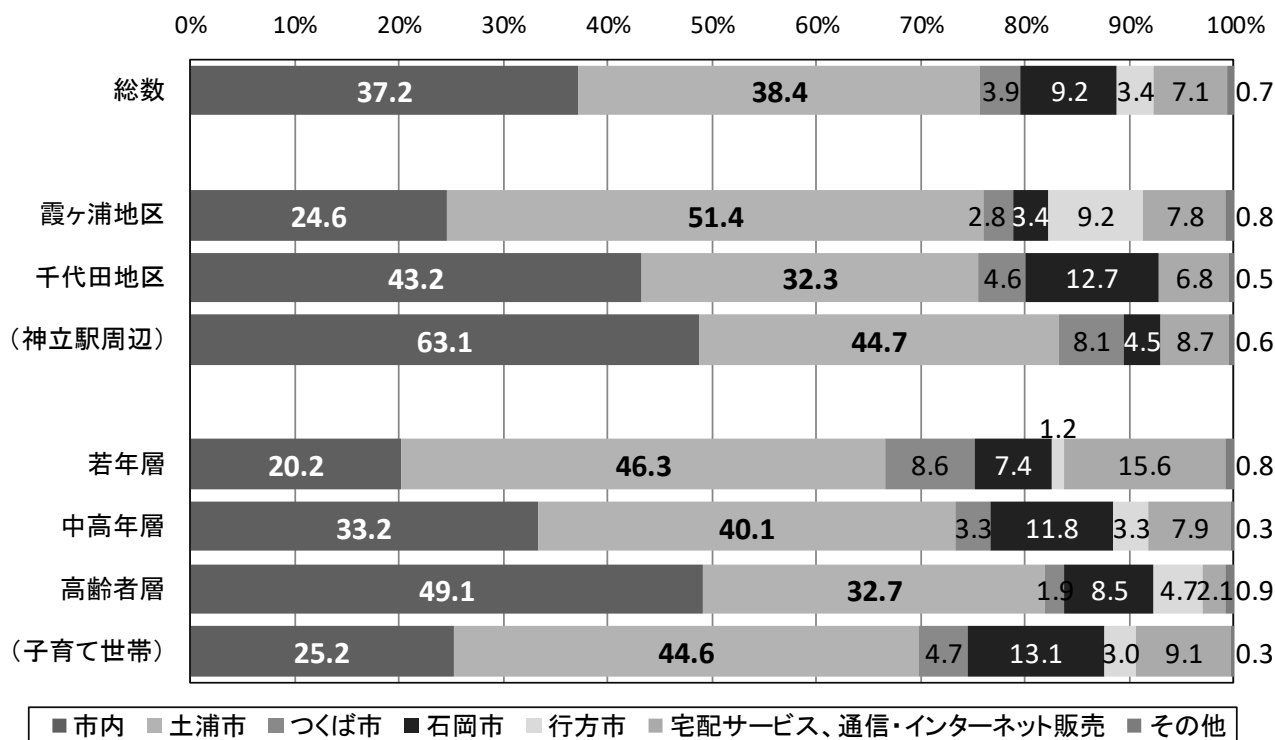
日用品以外の買い物先については、「土浦市」が38.4%と最も高く、次いで「市内」が37.2%、「石岡市」が9.2%の順となっている。クロス集計の結果では、霞ヶ浦地区では「土浦市」に買い物に行く傾向が高く、一方で千代田地区では「市内」で買い物する傾向が高い。年齢層でみると、若い年齢層ほど市外での買い物をする傾向にある。3位までを含めた合計においては、「土浦市」、「市内」、「つくば市」の順となっている。

また最もよく行く店舗としては、土浦市の店舗が多く挙げられている。

■最もよく行く日用品以外の買い物先（単純集計）

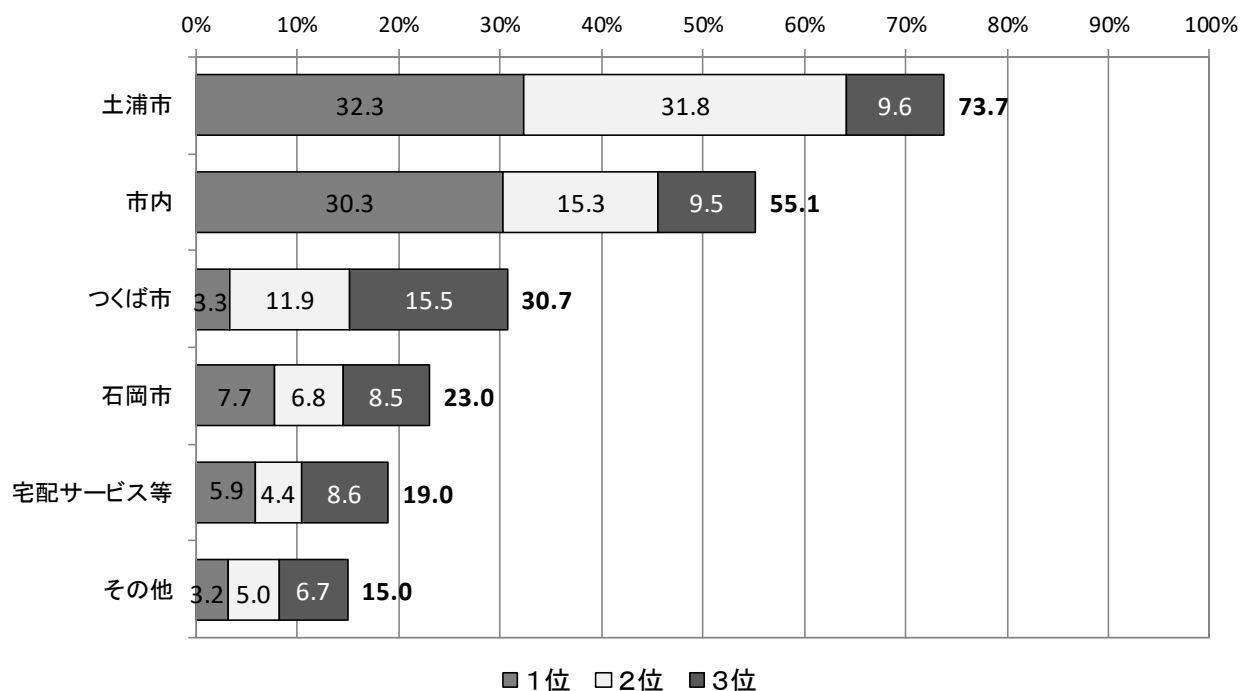


■最もよく行く日用品以外の買い物先（クロス集計）



※各上位5項目以外はその他としてまとめた。

■日用品以外の買い物先の合計（単純集計）



※各上位5項目以外はその他としてまとめた。

■最もよく行く店舗（50件以上）

- ・ ケーズデンキ神立店（228件） ・ ケーズデンキ土浦店（90件）
- ・ ケーズデンキ土浦真鍋店（73件） ・ イオンモール土浦店（51件） 等

問 1-5 買い物の際、最も利用する交通手段を 1 つ選んで○をしてください。

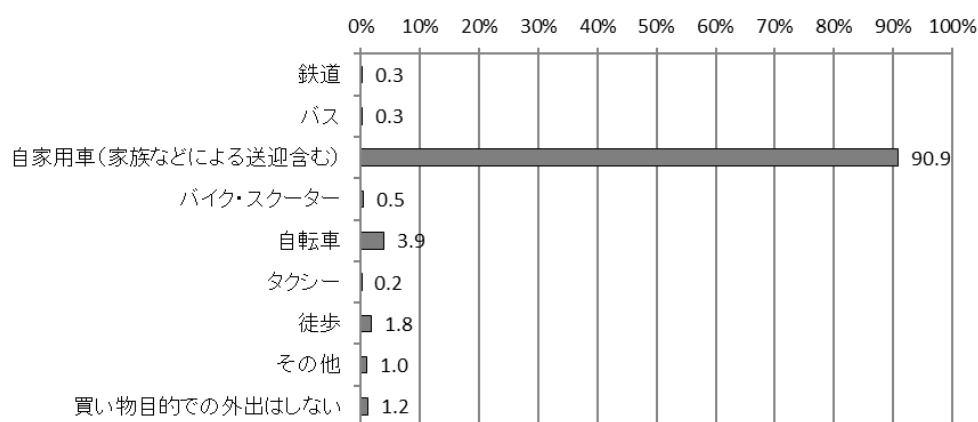
買い物の際に利用する交通手段としては、「自家用車」が 90.9%と 9 割を超え、次いで「自転車」が 3.9%となっている。

年齢層別にみると、若年層及び中高年層では、「自家用車」の利用が 9 割を超えているのに対して、高齢者層では、「自転車」、「徒歩」が他の世代に比べ高く、「自家用車」の利用が低い傾向にある

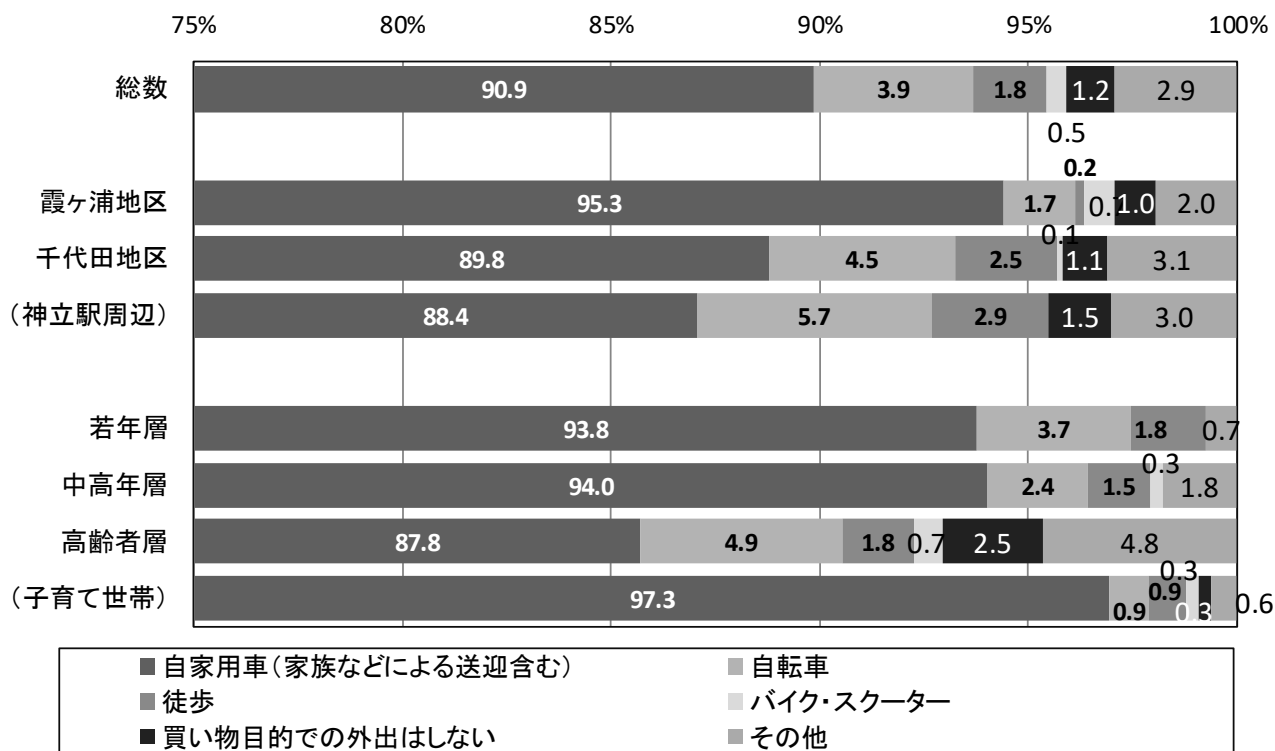
地区別にみると、いずれの地区においても全体と同様に「自家用車」の利用が突出しているが、霞ヶ浦地区が最も高く、神立駅周辺が最も低い。一方で「自転車」の利用や「徒歩」では逆に、神立駅周辺が最も高く、霞ヶ浦地区が最も低い傾向にある。

公共交通（「鉄道」及び「バス」）の利用は、いずれの年齢層及び地区においても低い傾向にある。

■買い物先までの移動手段（単純集計）



■買い物先までの移動手段（クロス集計）

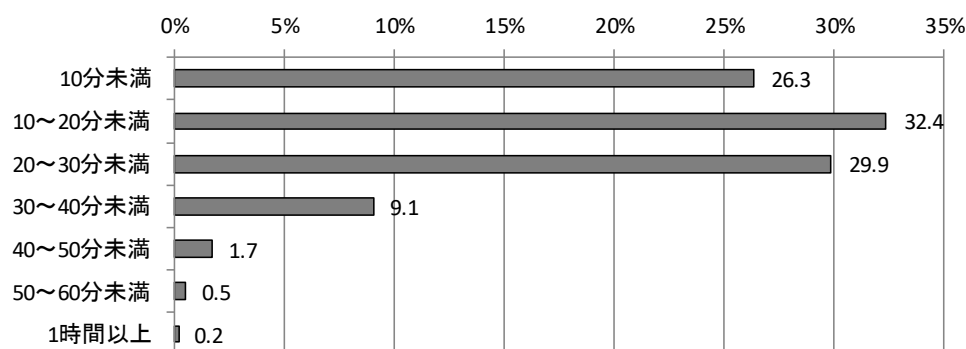


※各上位 5 項目以外はその他としてまとめた。

問 1-6 前問で 1～8 を回答された方にお聞きします。買い物の際、自宅から目的地までの所要時間について、あてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。（最短での所要時間を選択してください。）

買い物の際の所要時間については、「10～20 分未満」が 32.4%と最も多く、次いで「20～30 分未満」が 29.9%、「10 分未満」が 26.3%の順となっている。

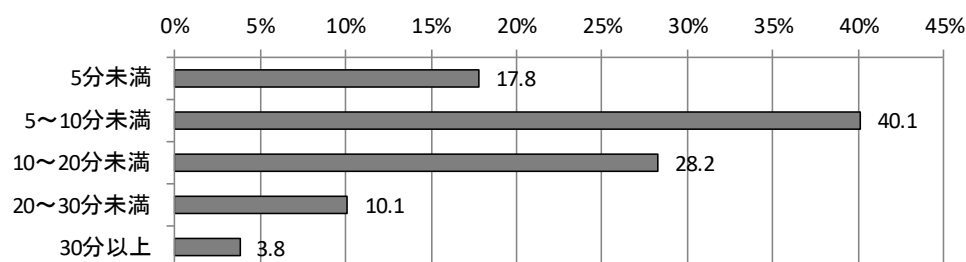
■買い物先までの所要時間（単純集計）



問 1-7 買い物の際、どのくらいの所要時間であれば、自宅から目的地まで歩いて行ってもよいと思いますか。あてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。

買い物における徒歩圏については、「5～10 分未満」が 40.1%と最も多く、次いで「10～20 分未満」が 28.2%、「5 分未満」が 17.8%の順となっている。

■買い物における徒歩圏（単純集計）



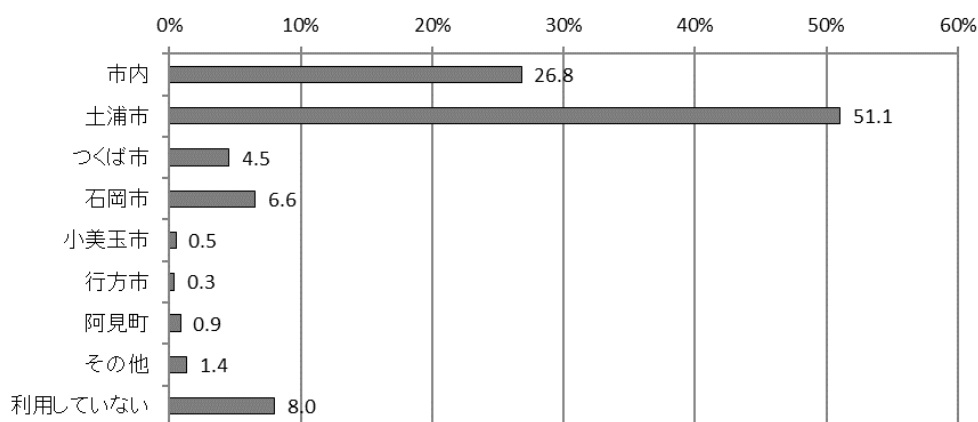
問 1-8 あなたのかかりつけの医療施設（病院・診療所など）、福祉施設（老人ホーム・リハビリセンター、幼稚園・保育園など）はどこにありますか。あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をしてください。また、その施設の名称も記入してください。

かかりつけの医療施設

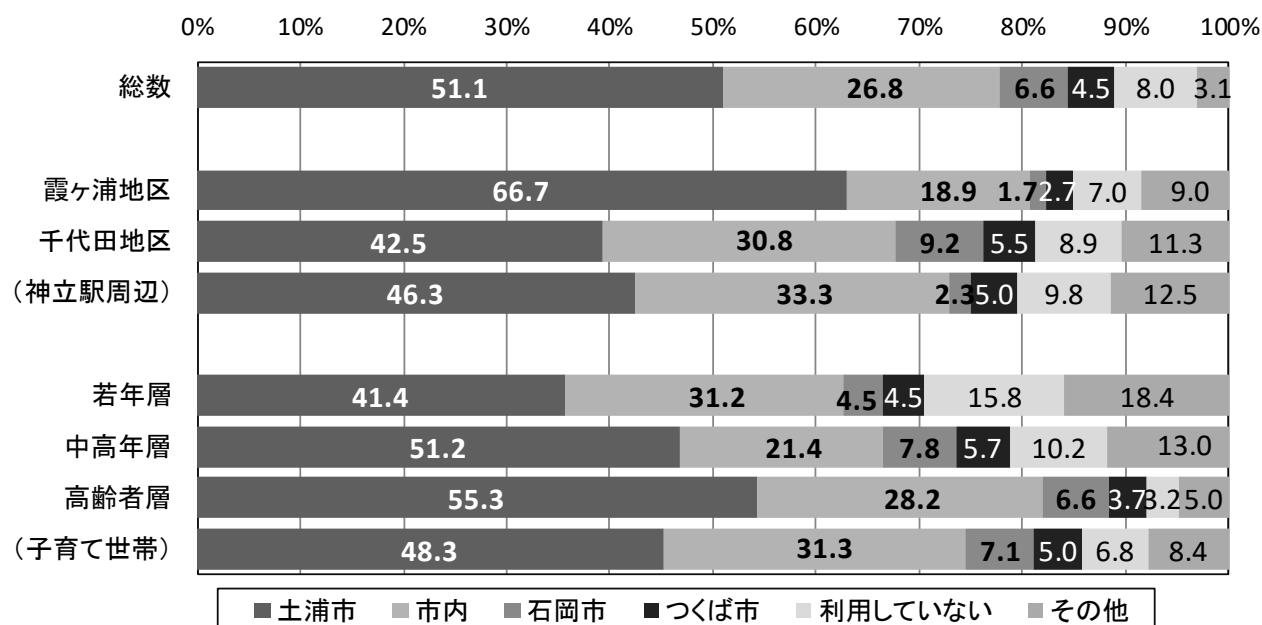
かかりつけの医療施設の場所としては、「土浦市」が51.1%と最も高く、次いで「市内」が26.8%、石岡市が6.6%の順となっている。年齢層別に見ると、いずれの年代においても、全体と同様の傾向にあるが、年齢層があがるにつれて、「土浦市」の医療施設を利用し、一方で若い年齢層ほど「つくば市」の医療施設を利用しない傾向にある。

具体的なかかりつけの医療施設は、土浦市の病院のうち、かすみがうら市に近接する「土浦協同病院」「土浦診療健診センター」「神立病院」などが上位に挙がっている。

■かかりつけの医療施設の立地（単純集計）



■かかりつけの医療施設の立地（クロス集計）



※各上位5項目以外はその他としてまとめた。

■かかりつけの医療施設（50件以上）

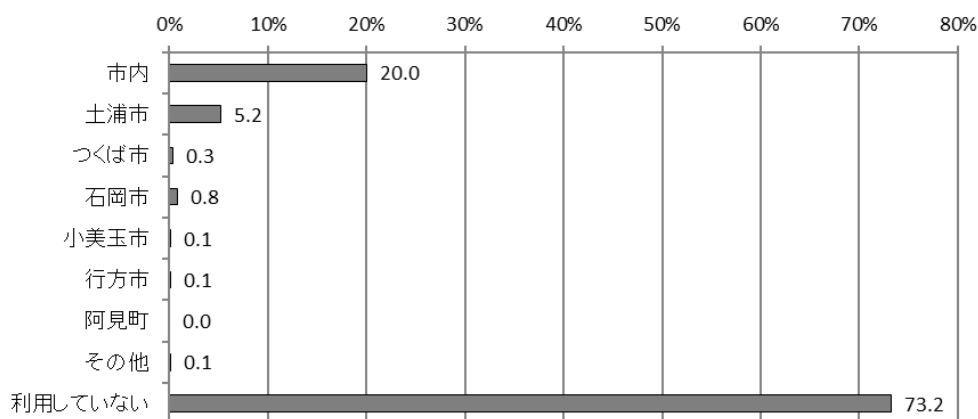
- | | | |
|---------------|-------------------|---|
| ・土浦協同病院（207件） | ・土浦診療健診センター（102件） | 等 |
| ・高木医院（75件） | ・神立病院（73件） | |

よく行く福祉施設

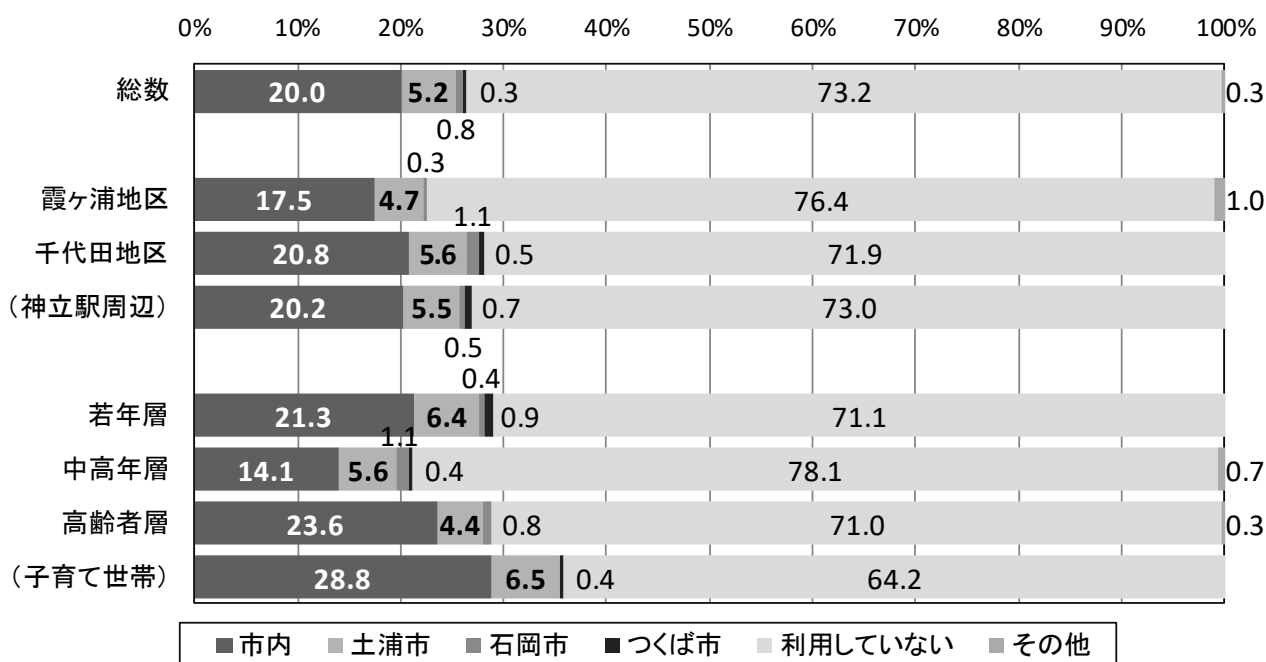
7割以上が福祉施設を利用していないと答えている。また、よく行く福祉施設については、「市内」が20.0%と最も多く、次いで「土浦市」が5.3%、「石岡市」が0.8%の順となっている。年齢層別また地区別においても市と同様の傾向にある。

具体的なよく行く福祉施設として「あじさい館」や「やまゆり館」が上位に挙げられている。

■よく行く福祉施設の立地（単純集計）



■よく行く福祉施設の立地（クロス集計）



※各上位5項目以外はその他としてまとめた。

■よく行く福祉施設（5件以上）

【高齢者福祉施設】

- ・あじさい館（18件）
- ・プルミエールひたち野（10件）
- ・やまゆり館（9件）
- ・ハートワン千代田（7件）
- ・霞ヶ浦の里（5件）

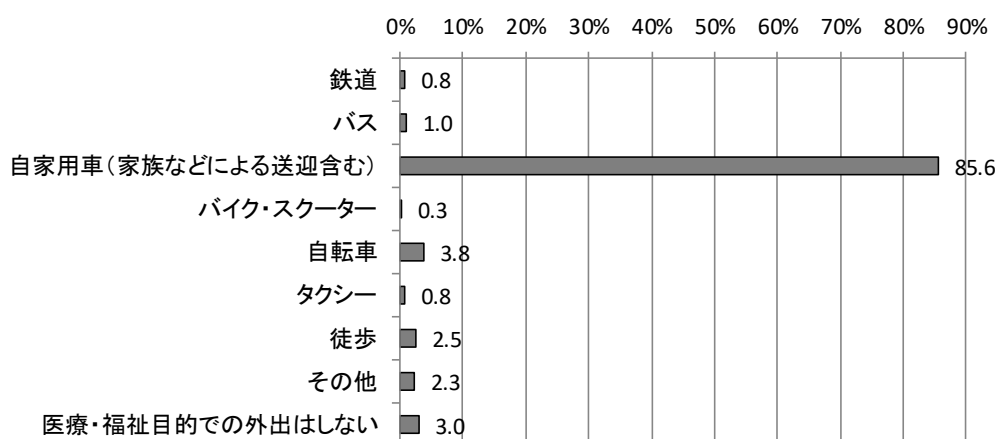
【幼稚園・保育所等】

- ・神立幼稚園（5件）
- ・くりのみ自然幼稚園（5件）

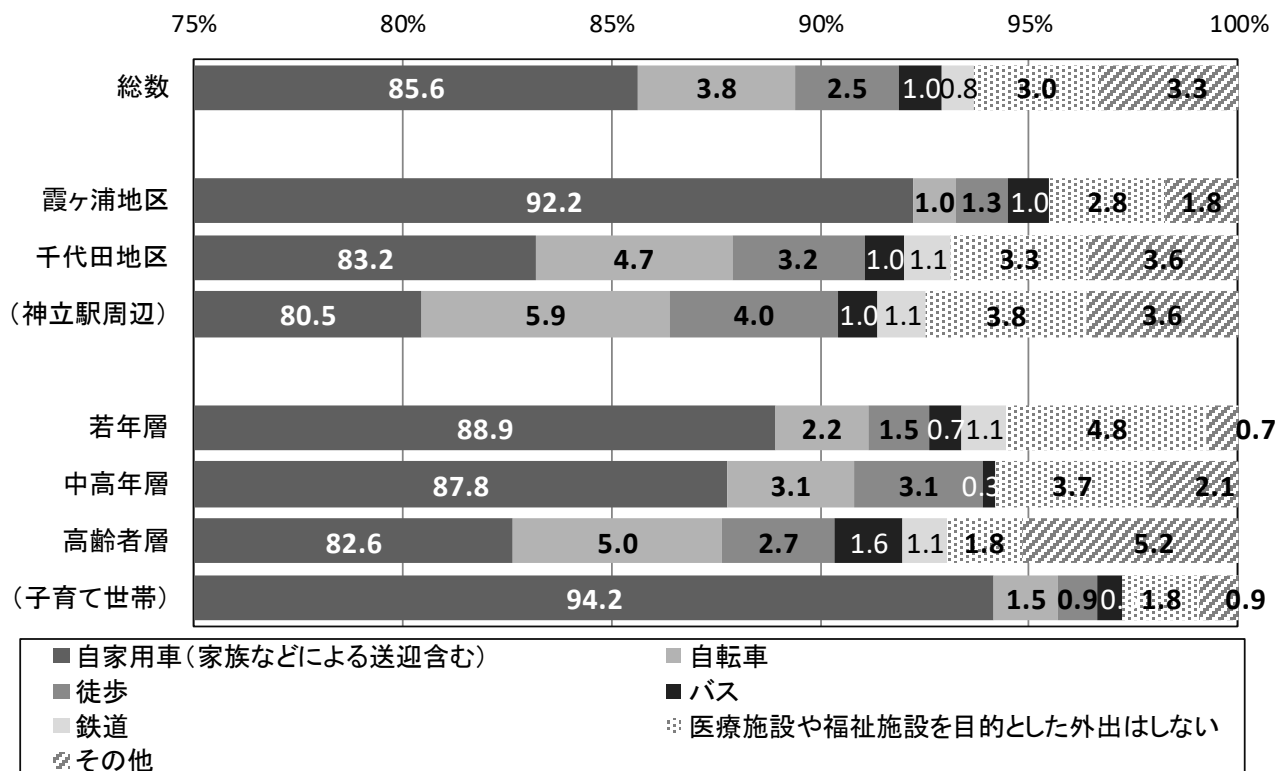
問 1-9 医療施設や福祉施設に行く際、最も利用する交通手段を1つ選んで○をしてください。

医療施設や福祉施設に行く際の交通手段としては、「自家用車」が85.6%と最も高く、続く「自転車」が3.8%となっている。年齢層別にみると、年齢層が上がるにつれて、「自家用車」の利用が減少し、自転車の利用が増加する傾向にある。地区別にみると、いずれの地区においても「自家用車」の利用が最も高い傾向にある。また神立駅周辺では「自転車」が5.9%と他地区に比べ高い傾向にある。

■医療施設・福祉施設への移動手段（単純集計）



■医療施設・福祉施設への移動手段（クロス集計）

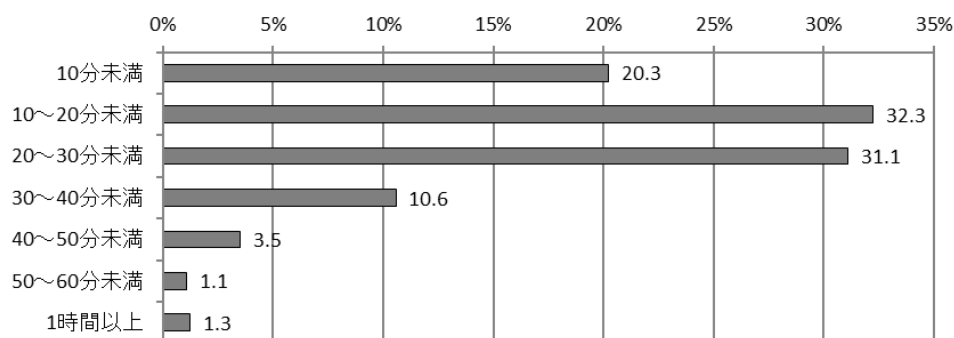


※各上位5項目以外はその他としてまとめた。

問 1-10 前問で 1～8 を回答された方にお聞きします。医療施設や福祉施設に行く際、自宅から目的地までの所要時間について、あてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。
(最短での所要時間を選択してください。)

医療施設や福祉施設に行く際の所要時間については、「10～20 分未満」が 32.3%と最も高く、次いで「20～30 分未満」が 31.1%、「10 分未満」が 20.3%となっている。

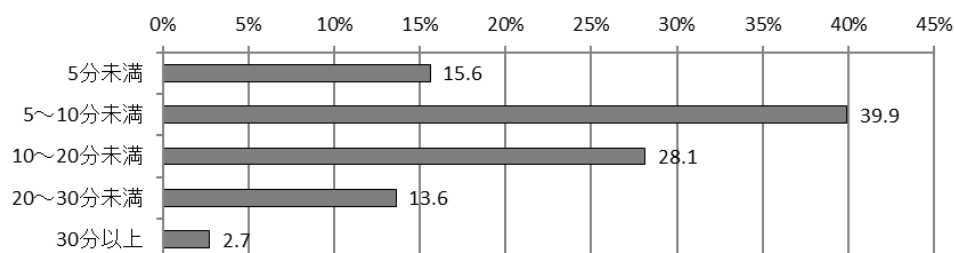
■医療施設・福祉施設までの所要時間（単純集計）



問 1-11 医療施設や福祉施設に行く際、どのくらいの所要時間であれば自宅から目的地まで歩いて行ってもよいと思いますか。あてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。

医療施設や福祉施設における徒歩圏内については、「5～10 分未満」が 39.9%で最も多く、次いで「10～20 分未満」が 28.1%、「5 分未満」が 15.6%の順となっている。

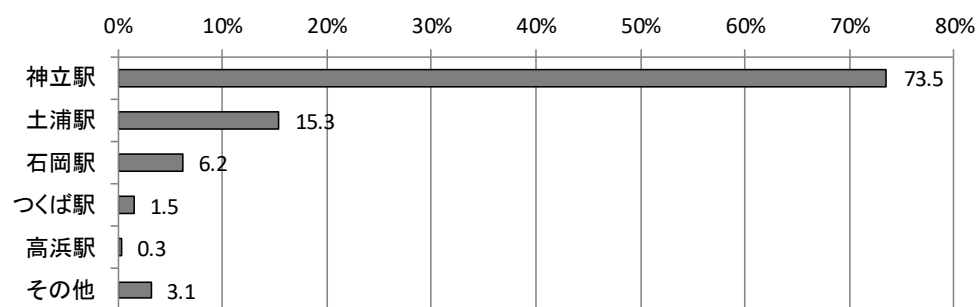
■医療施設・福祉施設における徒歩圏（単純集計）



問 1-1 2 自宅から鉄道駅に行く際、最もよく利用する鉄道駅を1つ選んで○をしてください。

最もよく利用する鉄道駅としては、「神立駅」が73.5%と最も高く、次いで「土浦駅」が15.3%、「石岡駅」が6.2%の順となっている。地区別にみると、いずれの地区でも全体と同様の傾向にあるが、霞ヶ浦地区では「土浦駅」の割合が高く、千代田地区では「石岡駅」の利用が多い傾向にある。年齢層別にと、いずれの年齢層でも全体と同様の傾向にある。

■最もよく利用する鉄道駅（単純集計）

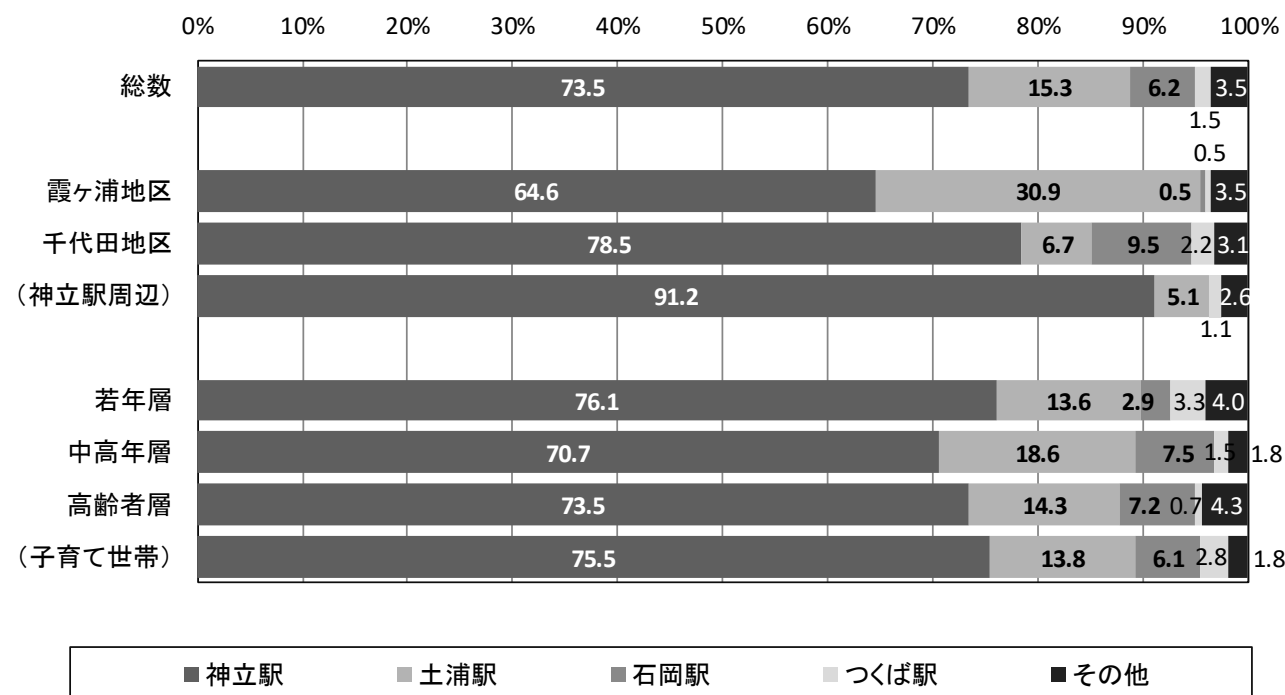


（その他）

・ひたち野うしく駅（3件）

等

■最もよく利用する鉄道駅（クロス集計）



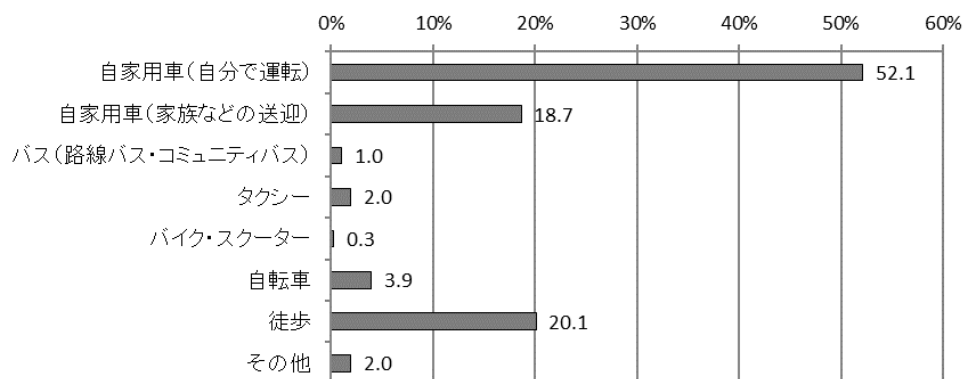
※「高浜駅」はその他としてまとめた。

問 1-13 自宅から鉄道駅に行く際、最も利用する交通手段を1つ選んで○をしてください。

自宅から鉄道駅に行く際の交通手段としては、「自家用車（自分で運転）」が 52.1%と最も高く、次いで「徒歩」が 20.1%、「自家用車（家族などの送迎）」が 18.7%の順となっている。

地区別にみると、神立駅周辺では「徒歩」が最も高く 4 割強となっている。「霞ヶ浦地区」では「徒歩」が最も少なく 2.3%と異なる傾向がみられた。年齢層別にみると、中高年層及び高齢者層では全体と同様の傾向にあるものの、高齢者層では「徒歩」、「タクシー」、の利用が他の年齢層に比べて高い傾向にある。そのため、自家用車以外の交通手段の確保が重要だと考えられる。

■最もよく利用する鉄道駅までの移動手段（単純集計）

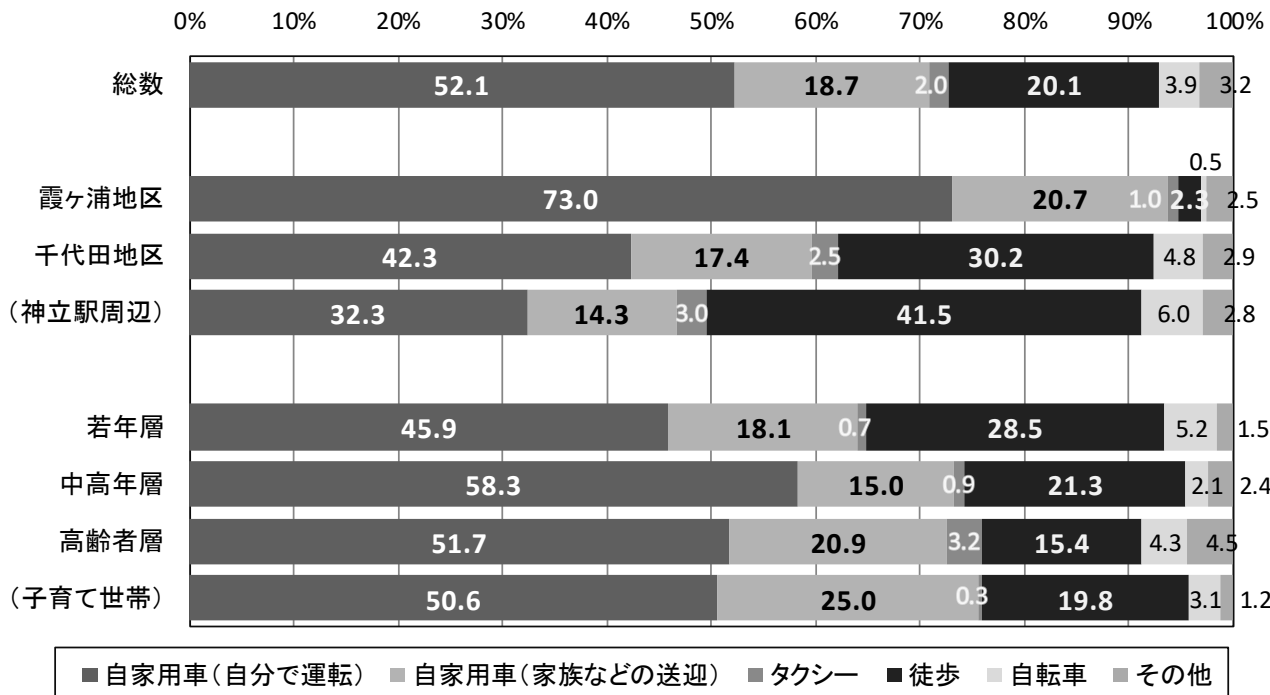


(その他)

・乗合タクシー（1件）

等

■最もよく利用する鉄道駅までの移動手段（クロス集計）



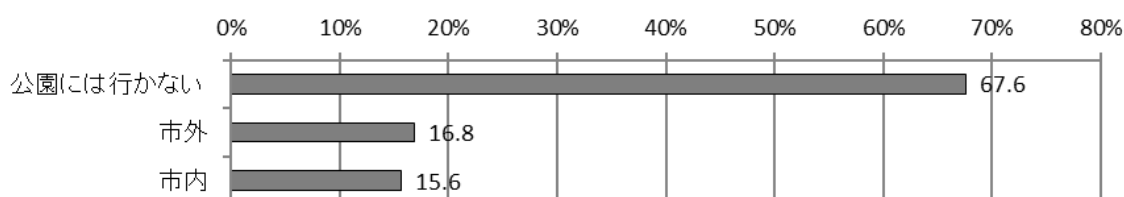
※各上位 5 項目以外はその他としてまとめた。

問 1-1 4 あなたの最もよく行く公園はどこにありますか。あてはまる番号を1つ選んで○をしてください。また、その公園の名称も記入してください。

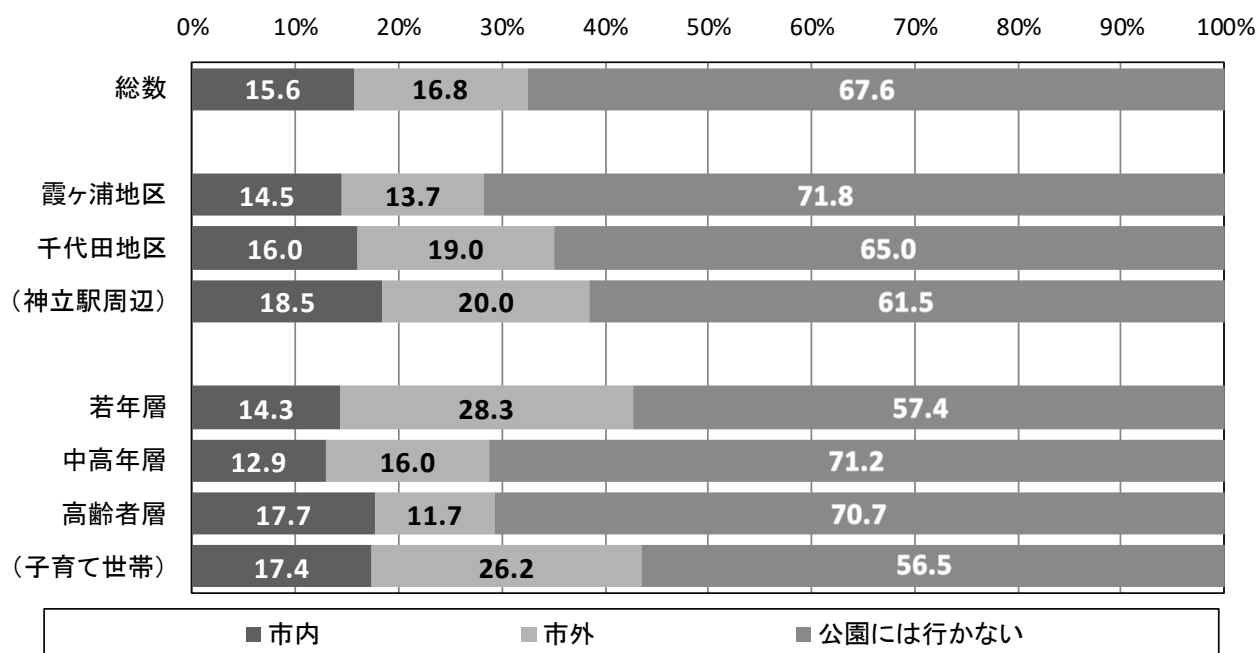
「公園には行かない」と答えた人が最も多く、67.6%であった。次いで「市外」が16.8%、「市内」が15.6%だった。地区別にみると、霞ヶ浦地区では「市外」よりも「市内」の利用が多い傾向にある。年齢層別では、若年層ほど「市外」の利用が多い傾向にある。

よく行く公園としては、土浦市の「霞ヶ浦総合公園」が最も多いものの、2位から4位までは市内の公園があげられている。

■公園の利用状況（単純集計）



■公園の利用状況（クロス集計）



■よく行く公園（10件以上）

- ・霞ヶ浦総合公園（52件） ・わかぐり運動公園（32件） ・歩崎公園（31件）
- ・大塚ファミリー公園（21件） ・洞峰公園（19件） ・鶴沼公園（19件）
- ・常陸風土記の丘（14件） ・神立公園（13件）

等

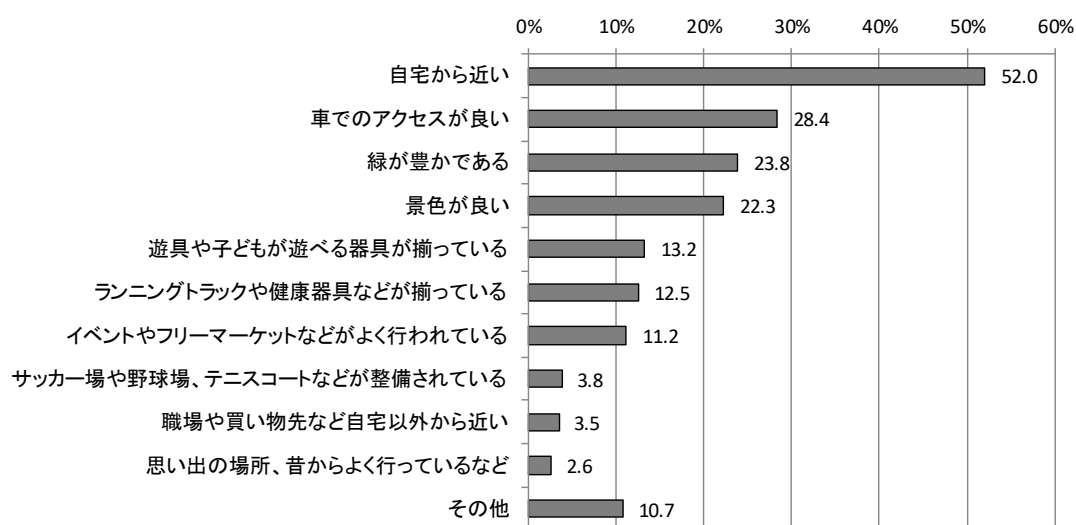
問 1-15 前問で『1. 市内』または『2. 市外』を回答された方にお聞きします。記入された公園によく行く主な理由はどれですか。あてはまる番号を2つ選んで○をしてください。

また、前問で『3. 公園には行かない』と回答された方にお聞きします。どのような公園であればよく行くと思いますか。あてはまる番号を2つ選んで○をしてください。

公園に行く要因としては、「自宅から近い」と答えた人が最も多く 52.0%、「車でアクセスが良い」が次いで 28.4%、とアクセス性が最重視されている傾向にある。次いで「緑が豊かである」が 23.8%、「景色が良い」が 22.3%となっており、器具や設備よりも緑や景観を重視されている傾向にある。

前問の選択肢『市内の公園に行く・市外の公園に行く・公園には行かないの』とのクロス集計では、「市内の公園に行く」と答えた人は全体の傾向と似た要因を挙げている。一方で、「市外の公園に行く」主な要因としては、「緑が豊かである」、「車でアクセスが良い」、「遊具や子どもが遊べる器具が揃っている」が上がっている。「公園に行かない」と答えた人は、「ランニングトラックや健康器具などが揃っている」、「イベントやフリーマーケットなどがよく行われている」などが全体と比較して高い傾向にある。

■公園に行く要因（複数回答・単純集計）

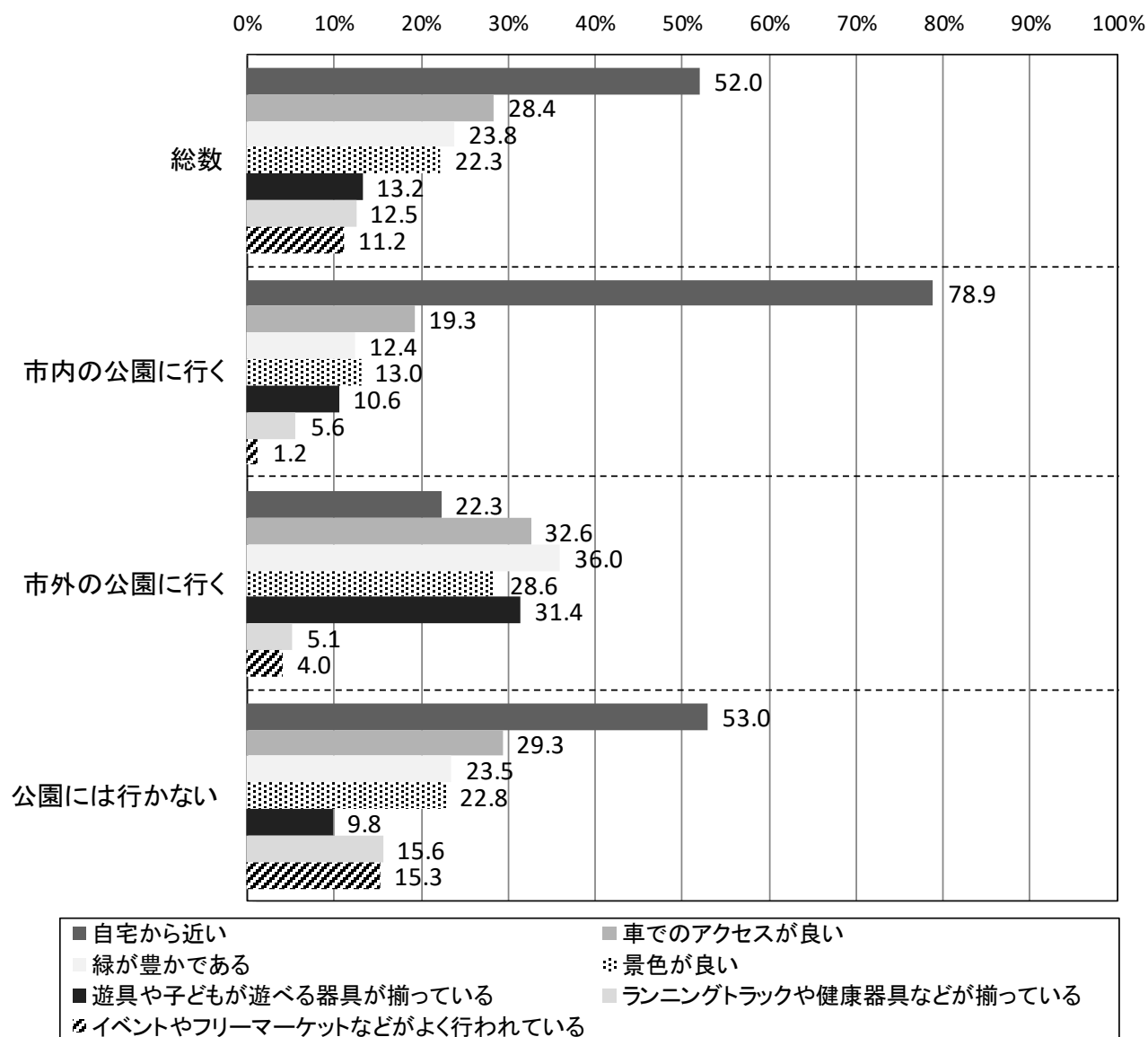


（その他）

- ・ウォーキングや散歩に適している（11 件）
- ・犬の散歩ができる、ドッグランがある（10 件）
- ・レストランや美術館など施設が充実している（8 件）

等

■公園に行く要因（複数回答・クロス集計）



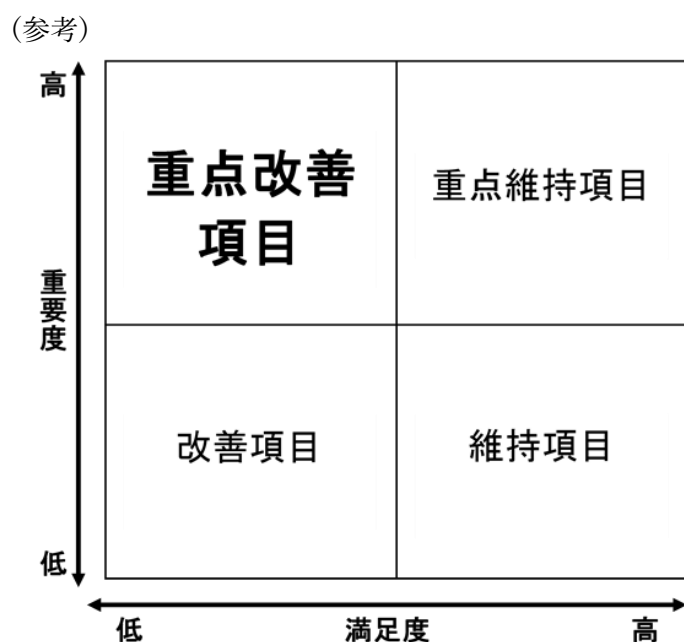
※各上位5項目のみを表示

(2) お住まいの地区の状況について

問2-1 あなたは、現在お住まいの地区の生活環境についてどのように感じていますか。次の項目（満足度・重要と考えるもの）ごとに、あてはまる番号をそれぞれ1つずつ選んで○をしてください。

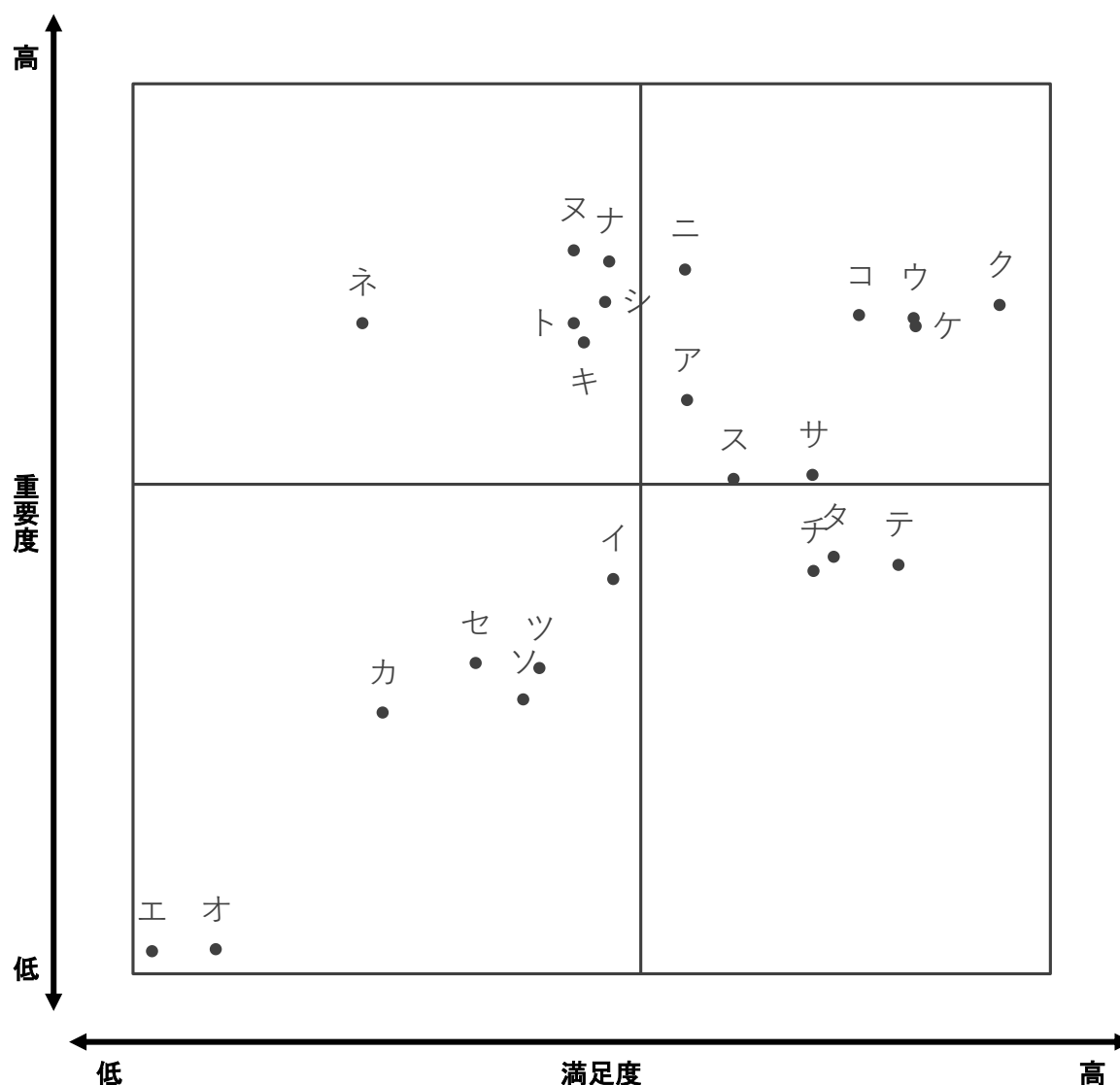
生活環境の満足度では、「ク. 上水道の整備」、「ケ. 下水道の整備」、「ウ. 自動車の利用しやすさ」などインフラの整備については満足度が高い一方で、「エ. 路線バスの運行本数」、「オ. 路線バスのルート」と路線バスについては満足度が低い傾向にある。生活環境の重要度では、「ヌ. まちの防犯対策」、「ナ. 交通安全対策」、「ニ. 自然災害に対する防災対策」と安心・安全について重要視されている。

重要度・満足度をマトリックスにとり、重要度が高く・満足度が低い「重点改善項目」には6項目が該当している。重点改善項目のうち、「ヌ. まちの防犯対策」、「ナ. 交通安全対策」、「シ. 病院など医療福祉施設の立地」、「ト. 騒音、悪臭などの公害対策」、「キ. 生活道路の整備」は重要度が高く・満足がやや低く、「ネ. 空き家などの管理及び抑制対策」は重要度が高く・満足度が低い。



註：『満足している』・『重要である』を1ポイント、『一応満足してる』・『やや重要である』を0.5ポイント、『どちらでもない』を0ポイント、『やや不満である』・『あまり重要でない』を△0.5ポイント、『不満である』・『重要でない』を△1ポイントとし、各項目の平均によりプロットした。軸は満足度、重要度の全体平均で設定している。

■重要度・満足度



軸：満足度：△0.08 ポイント 重要度：0.63 ポイント

ア. 通勤・通学の便利さ	ス. 学校など教育施設の立地
イ. 鉄道の利用しやすさ	セ. 図書館など文化施設の立地
ウ. 自動車の利用しやすさ	ソ. 運動・スポーツ施設の立地
エ. 路線バスの運行本数	タ. 緑や水辺などの豊かな自然環境
オ. 路線バスのルート	チ. 自然的景観の美しさ
カ. 広場や公園などの整備	ツ. 街並み景観の美しさ
キ. 生活道路の整備	テ. 宅地の広さやゆとり
ク. 上水道の整備	ト. 騒音、悪臭などの公害対策
ケ. 下水道の整備	ナ. 交通安全対策
コ. スーパーなど買い物先の立地	ニ. 自然災害に対する防災対策
サ. 役所など行政窓口の立地	ヌ. まちの防犯対策
シ. 病院など医療福祉施設の立地	ネ. 空き家などの管理及び抑制対策

○霞ヶ浦地区

生活環境の重要度では、「ウ．自動車の利用しやすさ」、「ナ．交通安全対策」と自動車の安全・利便性や「ニ．自然災害に対する防災対策」、「ヌ．まちの防犯対策」と安心・安全について重要視されている。生活環境の満足度では、「テ．宅地の広さやゆとり」、「タ．緑や水辺などの豊かな自然環境」、「ク．上水道の整備」、「チ．自然的景観の美しさ」などについては満足度が高い一方で、「エ．路線バスの運行本数」、「オ．路線バスのルート」と路線バスについては満足度が低い傾向にある。

重要度が高く・満足度が低い「重点改善項目」には6項目が該当している。重点改善項目のうち、「ヌ．まちの防犯対策」、「シ．病院など医療福祉施設の立地」、「キ．生活道路の整備」、「ス．学校など教育施設の立地」は重要度が高く・満足がやや低く、「ネ．空き家などの管理及び抑制対策」、「ア．通勤・通学の便利さ」は重要度が高く・満足度が低い。

全体の傾向に比べ、「エ．路線バスの運行本数」、「オ．路線バスのルート」と路線バスの重要度が高く、「ア．通勤・通学の便利さ」、「イ．鉄道の利用しやすさ」と交通アクセスや「ス．学校など教育施設の立地」、「コ．スーパーなど買い物先の立地」と施設の立地についての満足度が低い。

○千代田地区

生活環境の重要度では、「ヌ．まちの防犯対策」、「ナ．交通安全対策」、「ニ．自然災害に対する防災対策」と安心・安全について重要視されている。生活環境の満足度では、「ク．上水道の整備」、「ケ．下水道の整備」などインフラの整備については満足度が高い一方で、「エ．路線バスの運行本数」、「オ．路線バスのルート」と路線バスについては満足度が低い傾向にある。

重要度が高く・満足度が低い「重点改善項目」には6項目が該当している。重点改善項目のうち、「シ．病院など医療福祉施設の立地」、「ナ．交通安全対策」、「キ．生活道路の整備」、「ヌ．まちの防犯対策」、「ト．騒音、悪臭などの公害対策」は重要度が高く・満足がやや低く、「ネ．空き家などの管理及び抑制対策」は重要度が高く・満足度が低い。

全体の傾向に比べ、「イ．鉄道の利用しやすさ」、「ソ．運動・スポーツ施設の立地」、「ツ．街並み景観の美しさ」の重要度が高く、「セ．図書館など文化施設の立地」や「タ．緑や水辺などの豊かな自然環境」、「チ．自然的景観の美しさ」と自然環境に対する満足度が低い。

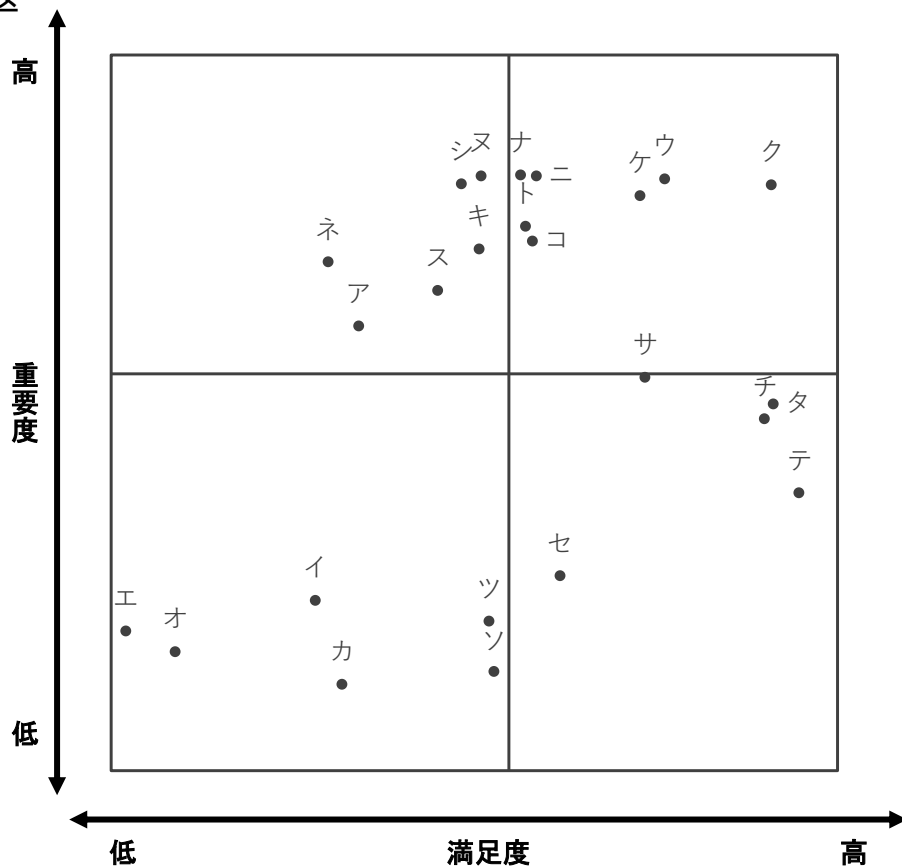
○神立駅周辺

生活環境の重要度では、「ナ．交通安全対策」、「ニ．自然災害に対する防災対策」、「ヌ．まちの防犯対策」と安心・安全について重要視されている。生活環境の満足度では、「コ．スーパーなど買い物先の立地」、「ク．上水道の整備」、「ケ．下水道の整備」などについては満足度が高い一方で、「エ．路線バスの運行本数」、「オ．路線バスのルート」と路線バスについては満足度が低い傾向にある。

重要度が高く・満足度が低い「重点改善項目」には5項目が該当している。重点改善項目のうち、「キ．生活道路の整備」、「ヌ．まちの防犯対策」、「ナ．交通安全対策」は重要度が高く・満足がやや低く、「ト．騒音、悪臭などの公害対策」、「ネ．空き家などの管理及び抑制対策」は重要度が高く・満足度が低い。

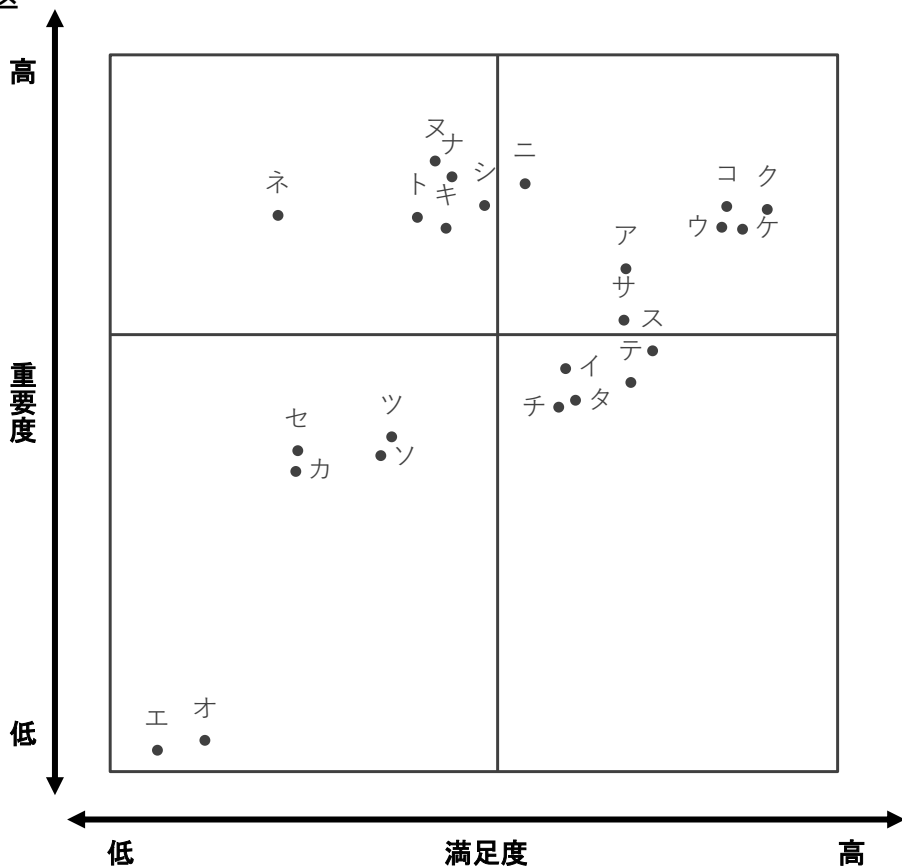
全体の傾向に比べ、「イ．鉄道の利用しやすさ」、「カ．広場や公園などの整備」の重要度が高く、「タ．緑や水辺などの豊かな自然環境」、「チ．自然的景観の美しさ」、「ト．騒音、悪臭などの公害対策」と自然環境や公害に対する満足度が低い。

○霞ヶ浦地区



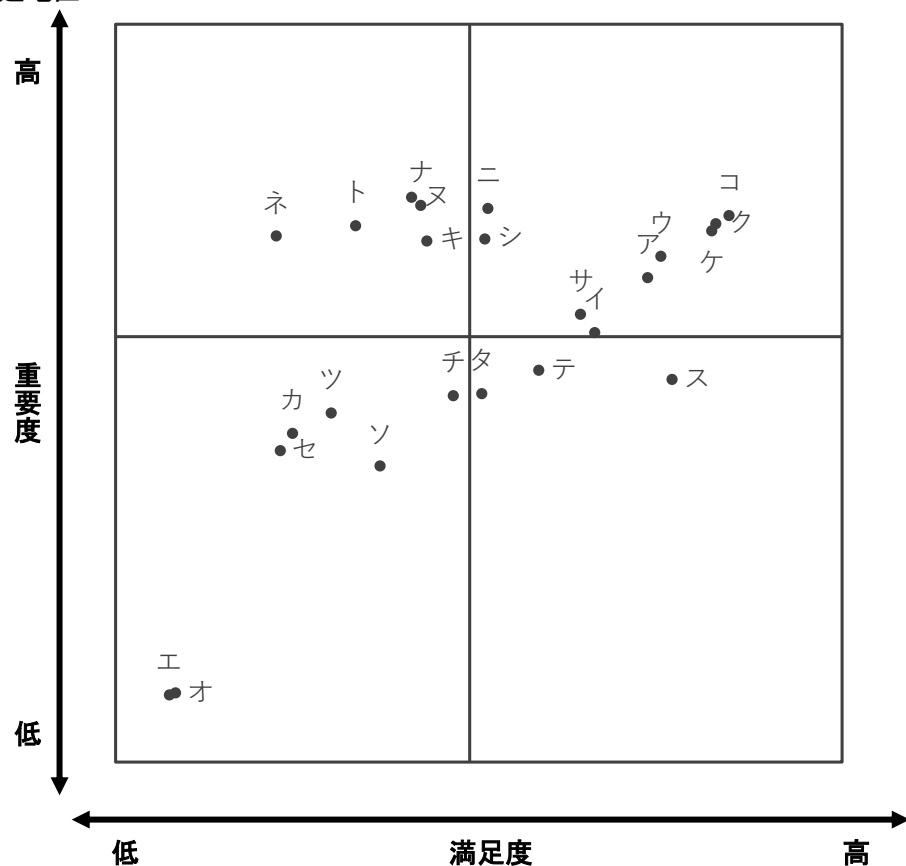
軸：満足度： $\Delta 0.13$ ポイント 重要度：0.65 ポイント

○千代田地区



軸：満足度： $\Delta 0.54$ ポイント 重要度：0.63 ポイント

○神立駅周辺地区



軸：満足度：△0.02 ポイント 重要度：0.62 ポイント

(再掲)

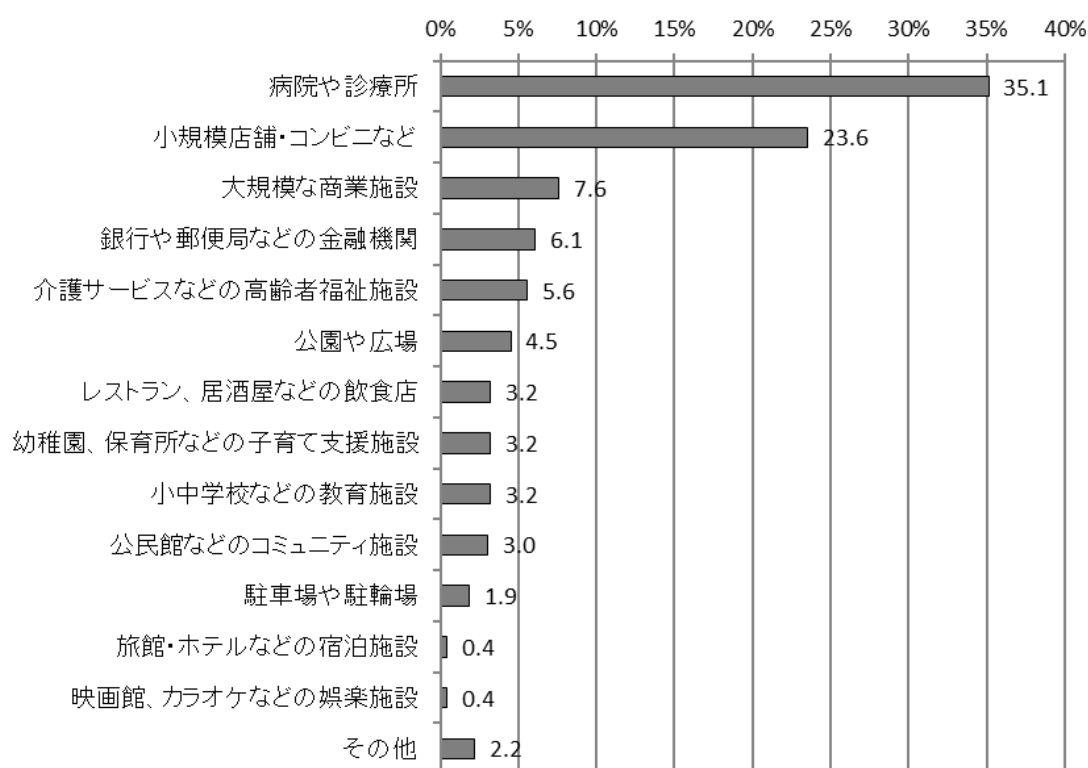
ア. 通勤・通学の便利さ	ス. 学校など教育施設の立地
イ. 鉄道の利用しやすさ	セ. 図書館など文化施設の立地
ウ. 自動車の利用しやすさ	ソ. 運動・スポーツ施設の立地
エ. 路線バスの運行本数	タ. 緑や水辺などの豊かな自然環境
オ. 路線バスのルート	チ. 自然的景観の美しさ
カ. 広場や公園などの整備	ツ. 街並み景観の美しさ
キ. 生活道路の整備	テ. 宅地の広さやゆとり
ク. 上水道の整備	ト. 騒音、悪臭などの公害対策
ケ. 下水道の整備	ナ. 交通安全対策
コ. スーパーなど買い物先の立地	ニ. 自然災害に対する防災対策
サ. 役所など行政窓口の立地	ヌ. まちの防犯対策
シ. 病院など医療福祉施設の立地	ネ. 空き家などの管理及び抑制対策

問2-2 あなたがお住まいの地区において、生活する上で特に必要とお考えの施設は何ですか。次の項目から必要だとお考えになる順に3つまで選んで表に記入してください。『14. その他』を回答された方は、具体的な施設名もご記入ください。

お住まいの地区において、生活する上で最も必要だと考える施設については、「病院や診療所」が35.1%と最も高く、次いで「小規模店舗・コンビニなど」が23.6%、「大規模な商業施設」が7.6%である。居住地別においては、霞ヶ浦地区の3位に「介護サービスなどの高齢者福祉施設」が挙げられている。また、年齢層別では高齢者層の3位に「銀行や郵便局などの金融機関」が挙げられている。

3位までの合計をみると、「病院や診療所」が53.4%で最も高く、次いで「小規模店舗・コンビニなど」が37.0%、「銀行や郵便局などの金融機関」が27.8%の順番となっている。

■居住地区で最も必要な施設（単純集計）

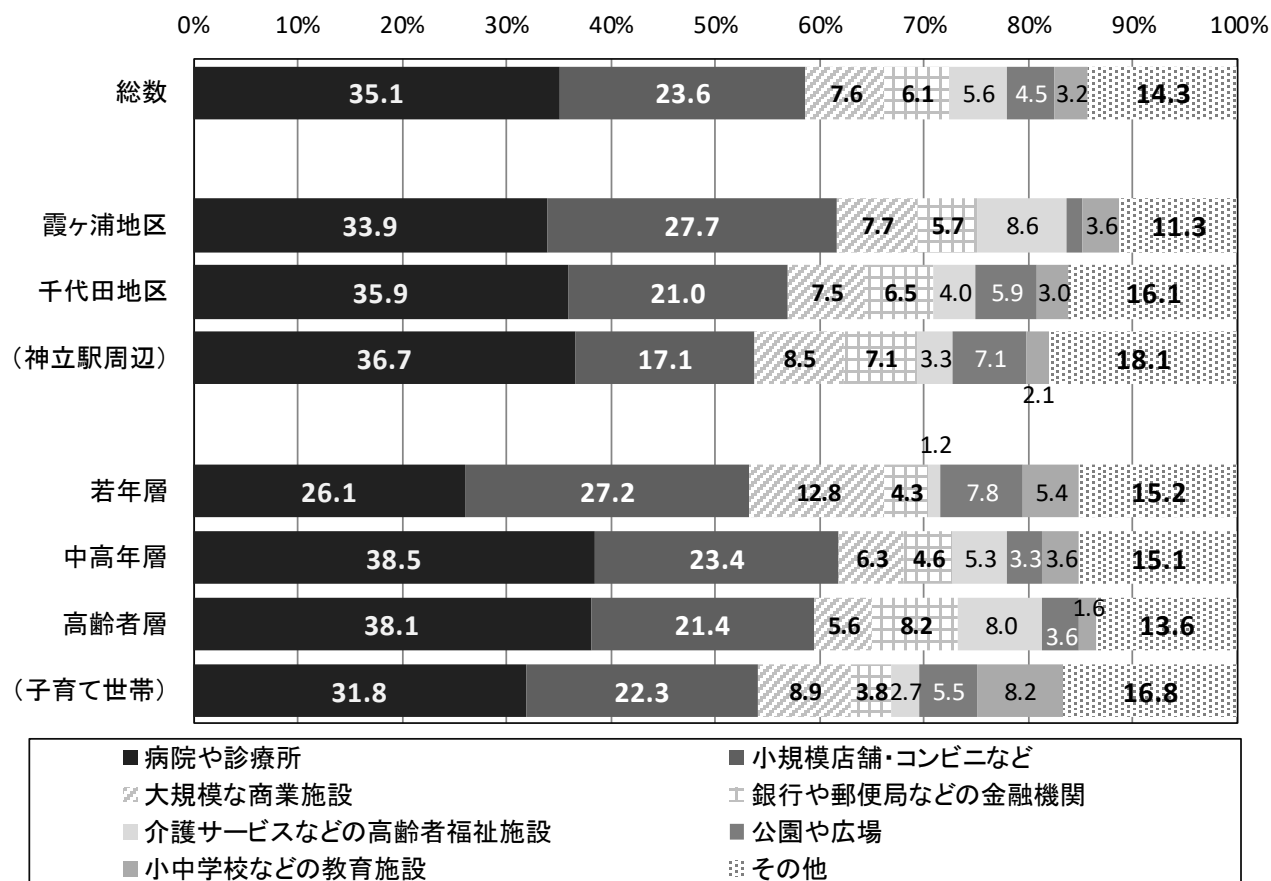


（その他）

・図書館（13件） ・バス停や駅（4件） ・交番（3件） ・団地（2件）

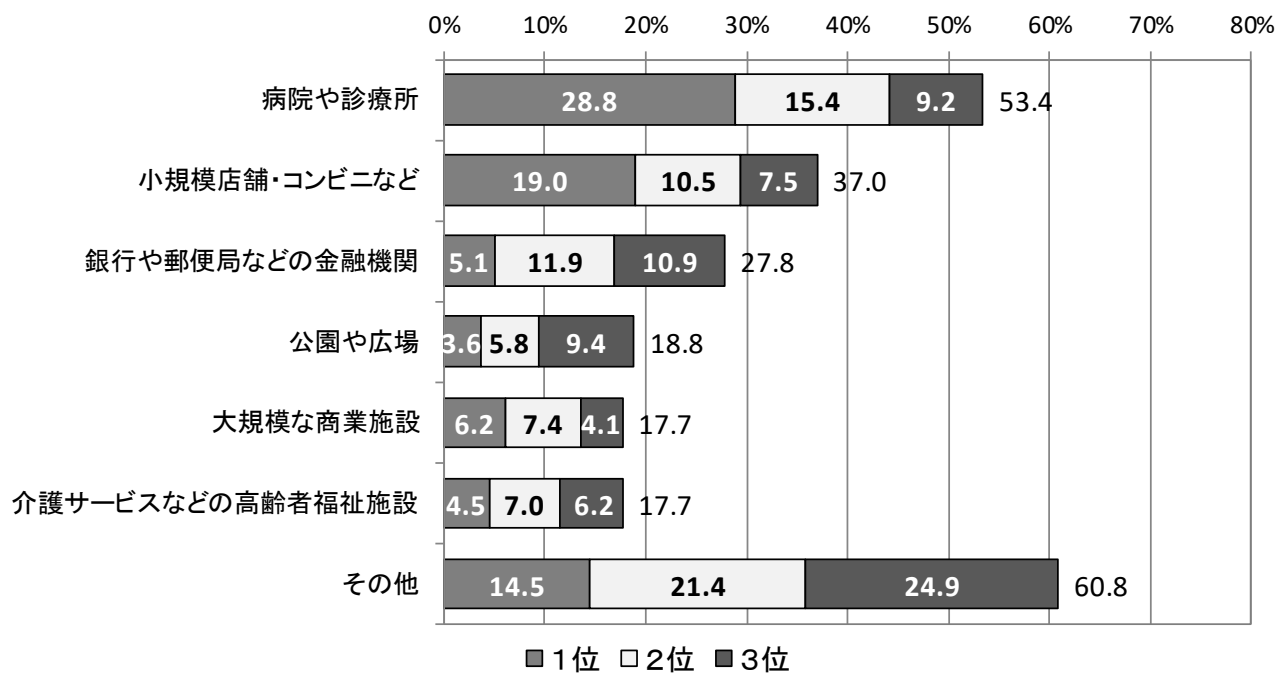
等

■居住地区で最も必要な施設（クロス集計）



※各上位5項目以外はその他としてまとめた。

■居住地区で特に必要な施設（複数回答・単純集計）



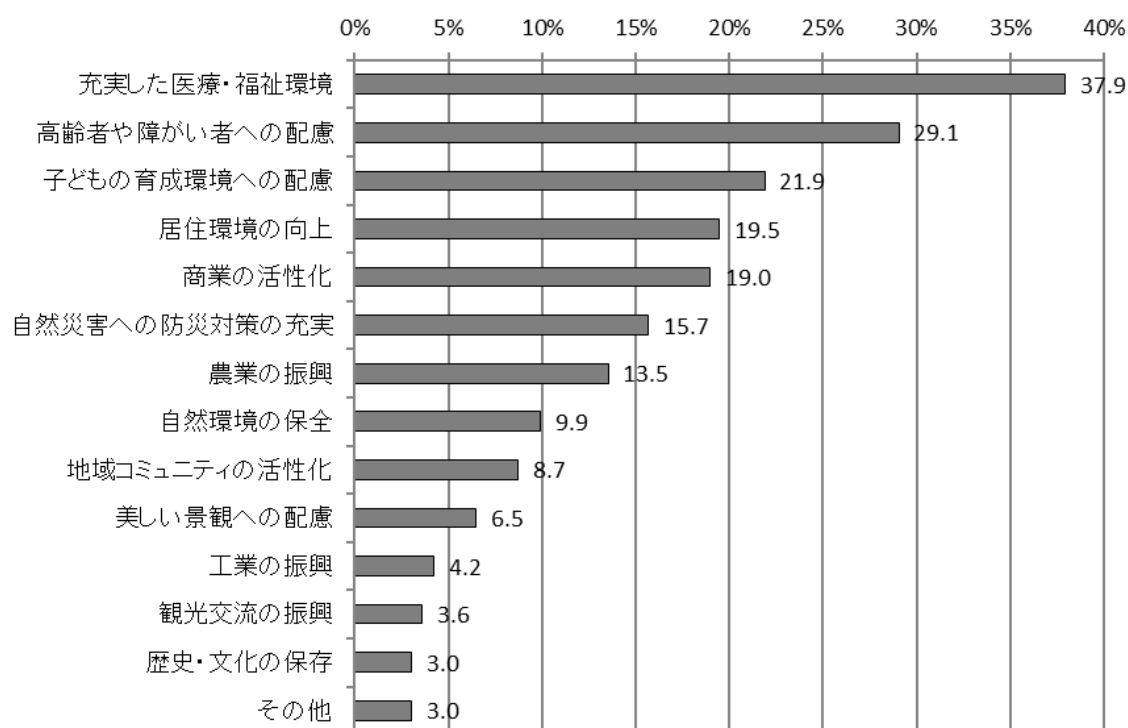
※各上位5項目以外はその他としてまとめた。

問2-3 あなたがお住まいの地区において、将来のまちづくりの中で、最も力を入れて守り、育むべきことは何だと思いますか。次の項目から2つまで選んで○をしてください。

お住まいの地区にとって、将来のまちづくりの中で、最も力を入れて守り、育むべきと考えていることについては、「充実した医療・福祉環境」が37.9%、「高齢者や障がい者への配慮」が29.1%、「子どもの育成環境への配慮」が21.9%、「居住環境の向上」が19.5%、「商業の活性化」が19.0%の順となっている。

地区別にみると、霞ヶ浦地区において3位に「農業の振興」が挙げられている。年齢層別にみると、若年層では「子どもの育成環境への配慮」、「充実した医療・福祉環境」、「商業の活性化」の順である。

■居住地区で将来のまちづくりに最も必要なこと（複数回答・単純集計）



（その他）

- ・道路整備や拡幅、歩道の整備（7件）
- ・公共交通の整備（6件）
- ・交通安全・交通マナー（3件）
- ・働く場所づくり（2件）
- ・市内へTXの延伸
- ・空き家対策
- ・人権
- ・防犯
- ・神立駅の送迎エリアの充実
- ・新住民の勧誘
- ・ペットの飼育環境
- ・市街化調整区域の見直し
- ・税金の有効活用

■居住地区で将来のまちづくりに最も必要なこと（複数回答・クロス集計）

	充実した 医療・福祉 環境	高齢者や 障がい者 への配慮	子どもの 育成環境 への配慮	居住環境の 向上	商業の 活性化	自然災害へ の防災対策 の充実	農業の 振興	自然環境の 保全	地域 コミュニティ の活性化	美しい景観 への配慮	工業の 振興	観光交流の 振興	歴史・文化 の保存	その他
総数	37.9%	29.1%	21.9%	19.5%	19.0%	15.7%	13.5%	9.9%	8.7%	6.5%	4.2%	3.6%	3.0%	3.0%
霞ヶ浦地区	35.3%	29.2%	18.3%	18.5%	18.0%	13.7%	20.1%	12.7%	7.6%	6.1%	5.6%	4.3%	2.8%	3.0%
千代田地区	39.8%	28.3%	24.6%	19.6%	19.4%	17.2%	10.2%	8.5%	9.2%	6.5%	3.7%	3.3%	3.2%	2.9%
（神立駅周辺）	41.4%	26.0%	25.0%	22.6%	21.3%	18.6%	5.3%	8.9%	8.2%	6.8%	3.6%	3.6%	2.8%	2.7%
若年層	30.4%	14.3%	43.2%	22.3%	28.9%	13.6%	7.7%	7.3%	7.3%	6.6%	5.9%	3.7%	2.9%	3.7%
中高年層	38.8%	27.0%	17.9%	21.5%	18.8%	17.6%	14.2%	8.2%	9.4%	8.2%	3.3%	5.5%	1.5%	3.9%
高齢者層	41.0%	37.3%	13.7%	16.6%	14.3%	15.9%	16.3%	12.1%	9.0%	5.3%	4.0%	2.6%	4.0%	2.2%
（子育て世帯）	32.0%	22.5%	41.2%	19.7%	20.9%	12.3%	13.2%	6.5%	7.7%	5.8%	4.9%	4.3%	1.8%	3.1%

(3) かすみがうら市のまちづくりや都市構造について

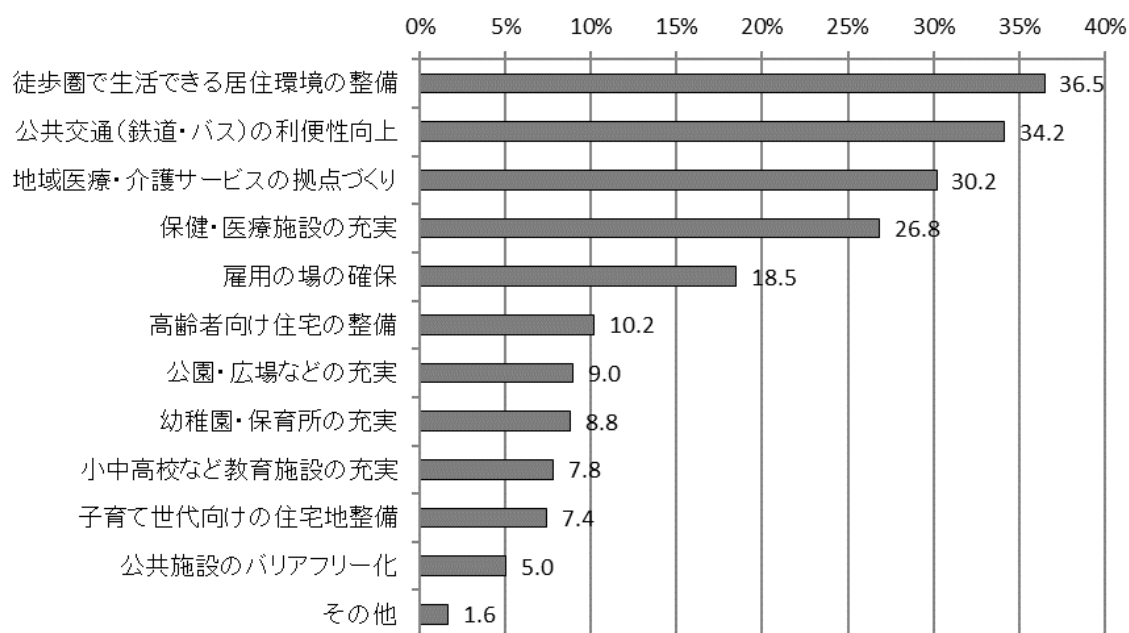
問3-1 少子高齢化が進む中で、本市が高齢者や子育て世代にとって暮らしやすいまちであるために、取り組むべき施策は何だと思われますか。次の項目から2つまで選んで○をしてください。

少子高齢化が進む中で、本市が高齢者や子育て世代にとって暮らしやすいまちであるために、取り組むべきと考える施策については、「徒歩圏で生活できる居住環境の整備」が36.5%で最も高く、次いで「公共交通（鉄道・バス）の利便性向上」が34.2%、「地域医療・介護サービスの拠点づくり」が30.2%、「保健・医療施設の充実」が26.8%、「雇用の場の確保」が18.5%の順となっている。

地区別にみると、霞ヶ浦地区では「公共交通の利便性向上」が最も高く、神立駅周辺では3位に「保健医療施設の充実」が挙げられている。

年齢層別にみると、「地域医療・介護サービスの拠点づくり」を選んだ人の割合は、年齢層が上がるほど高くなり、一方で「公共交通の利便性向上」を選んだ人の割合は、年齢層が下がるほど高くなる傾向にある。

■本市が取り組むべき施策（複数回答・単純集計）



(その他)

- ・妊産婦及び子育て世帯への助成拡充
- ・就業環境の向上
- ・世代を超えた交流・コミュニティの場づくり
- ・安全な歩行環境の整備
- ・買い物弱者対策
- ・神立駅に特急を停車
- ・公共施設の使いやすさ向上
- ・公害対策及び衛生管理の啓発
- ・市街化調整区域の見直しによる開発促進

など

■本市が取り組むべき施策（複数回答・クロス集計）

	徒歩圏で生活できる居住環境の整備	公共交通（鉄道・バス）の利便性向上	地域医療・介護サービスの拠点づくり	保健・医療施設の充実	雇用の場の確保	高齢者向け住宅の整備	公園・広場などの充実	幼稚園・保育所の充実	小中高校など教育施設の充実	子育て世帯向けの住宅地整備	公共施設のバリアフリー化	その他
総数	36.5%	34.2%	30.2%	26.8%	18.5%	10.2%	9.0%	8.8%	7.8%	7.4%	5.0%	1.6%
霞ヶ浦地区	32.4%	39.2%	33.9%	24.6%	23.5%	9.1%	4.8%	8.9%	9.9%	4.6%	3.8%	1.8%
千代田地区	38.7%	31.7%	28.5%	28.1%	16.4%	10.6%	11.0%	8.8%	7.0%	9.4%	5.5%	1.1%
（神立駅周辺）	40.0%	32.2%	26.3%	27.5%	15.7%	11.9%	12.9%	8.7%	5.3%	9.3%	6.3%	0.9%
若年層	35.7%	36.4%	15.4%	25.0%	21.7%	5.1%	17.6%	10.3%	11.4%	13.2%	4.0%	1.8%
中高年層	41.6%	34.0%	30.4%	26.1%	21.0%	10.0%	6.1%	9.4%	6.1%	6.7%	3.6%	1.5%
高齢者層	34.1%	33.5%	37.0%	27.5%	15.5%	12.9%	6.4%	7.8%	7.1%	5.1%	6.0%	1.6%
（子育て世帯）	34.6%	35.8%	23.1%	22.8%	18.5%	6.5%	12.0%	12.7%	13.9%	12.3%	3.1%	0.9%

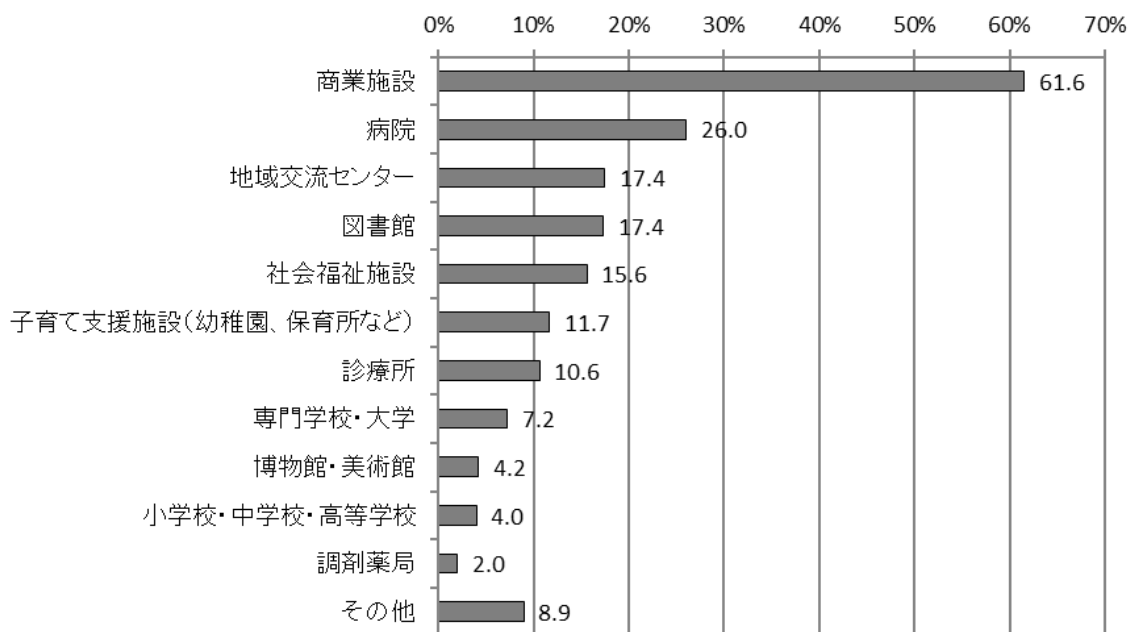
問3-2 本市の玄関口であり、多くの人々が集う JR 神立駅周辺において、あなたがさらに充実させたほうがよいと考える都市機能は何ですか。次の項目から2つまで選んで○をしてください。

JR 神立駅周辺において充実させた方がよいと考える都市機能については、「商業施設」が 61.6%と過半数を占め、次いで「病院」が 26.0%、「地域交流センター」が 17.4%、「図書館」が 17.4%、「社会福祉施設」が 15.6%、の順となっている。

地区別にみると、いずれの地区においても「商業施設」が第1位に挙げられている。また、霞ヶ浦地区では、「社会福祉施設」が3位に挙げられている。神立駅周辺では、「図書館」が第2位にあがっている。

年齢層別にみると、いずれの年齢層においても「商業施設」が第1位に挙げられている。高齢者層の3位には「地域交流センター」が挙げられている。また「商業施設」は年齢層が上がるにつれて、充実させたほうがよいと思う割合が減少する傾向にある。

■神立駅周辺に充実させたほうがよい都市機能（複数回答・単純集計）



（その他）（2件以上）

- ・道路整備や拡幅、歩道の整備（19件） ・公共交通の整備（11件）
- ・飲食店・喫茶店・居酒屋（7件） ・公園や広場（5件）
- ・エスカレーター（2件） ・仕事場（2件） ・金融機関（2件） ・行政窓口（2件）
- ・観光施設（2件） ・娯楽施設（2件）

■神立駅周辺に充実させたほうがよい都市機能（複数回答・クロス集計）

	商業施設	病院	図書館	地域交流 センター	社会福祉 施設	子育て 支援施設 (幼稚園、 保育所 など)	診療所	専門学校・ 大学	博物館・ 美術館	小学校・ 中学校・ 高等学校	調剤薬局	その他
総数	61.6%	26.0%	17.4%	17.4%	15.6%	11.7%	10.6%	7.2%	4.2%	4.0%	2.0%	8.9%
霞ヶ浦地区	65.3%	23.5%	5.8%	15.9%	18.3%	13.8%	14.0%	10.1%	4.8%	5.6%	3.2%	7.4%
千代田地区	60.6%	27.0%	23.9%	18.2%	13.7%	11.0%	8.5%	5.9%	3.6%	3.2%	1.4%	9.5%
(神立駅周辺)	63.4%	25.9%	28.6%	16.8%	12.0%	11.0%	8.4%	4.2%	2.9%	2.7%	0.6%	10.7%
若年層	71.7%	24.3%	26.1%	10.7%	9.6%	12.1%	7.4%	8.1%	2.9%	2.6%	0.4%	10.3%
中高年層	64.6%	24.5%	19.3%	14.3%	11.2%	11.2%	11.5%	7.5%	3.7%	4.0%	3.7%	10.9%
高齢者層	55.1%	27.9%	12.0%	22.8%	20.7%	11.8%	11.6%	6.7%	4.9%	4.8%	1.5%	7.2%
(子育て世帯)	63.6%	21.8%	19.9%	14.6%	12.0%	13.3%	10.4%	11.7%	2.5%	5.7%	1.3%	9.2%

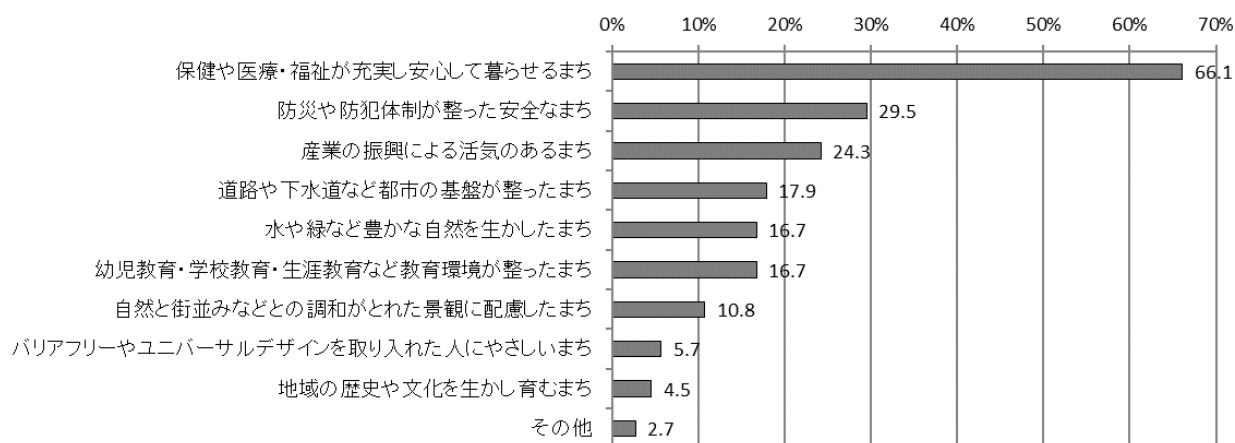
問3-3 あなたがこれからのかすみがうら市に求めるまちのイメージとはどのようなものですか。次の項目から2つまで選んで○をしてください。

これからのかすみがうら市に求めるまちのイメージとしては、「保健や医療・福祉が充実し安心して暮らせるまち」が66.1%で最も高く、次いで「防災や防犯体制が整った安全なまち」が29.5%、「産業の振興による活気のあるまち」が24.3%、「道路や下水道など都市の基盤が整ったまち」が17.9%、「水や緑など豊かな自然を生かしたまち」と「幼児教育・学校教育・生涯教育など教育環境が整ったまち」が16.7%の順となっている。

地区別では、市全体と大きな差はみられなかった。

年齢層別にみると、若年層の第3位及び子育て世帯の第2位に「幼児教育・学校教育・生涯教育など教育環境が整ったまち」が挙げられている。

■かすみがうら市の将来イメージ（複数回答・単純集計）



（その他）

- ・ 歴史文化を大切にしたい大人のまち
- ・ 高齢者福祉が充実したまち
- ・ 地域、年齢を超えて交流できるまち
- ・ 公共交通網は整備され、自家用車がなくても生活できるまち
- ・ いじめのない、差別なきまち
- ・ 生活するのに便利な施設が揃ったまち
- ・ 駅を中心とした活気のあるまち
- ・ 住民の気持ちにそった行政が行われるまち
- ・ 地元に残り働く拠点のあるまち
- ・ 公害のないまち
- ・ かすみがうら市に行きたいと思ってもらえるようなまち
- ・ 特急が止まるまち

など

■かすみがうら市の将来イメージ（複数回答・クロス集計）

	保健や医療・福祉が充実し安心して暮らせるまち	防災や防犯体制が整った安全なまち	産業の振興による活気のあるまち	道路や下水道など都市の基盤が整ったまち	水や緑など豊かな自然を生かしたまち	幼児教育・学校教育・生涯教育など教育環境が整ったまち	自然と街並みなどとの調和がとれた景観に配慮したまち	バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた人にやさしいまち	地域の歴史や文化を生かし育むまち	その他
総数	66.1%	29.5%	24.3%	17.9%	16.7%	16.7%	10.8%	5.7%	4.5%	2.7%
霞ヶ浦地区	65.1%	28.4%	28.1%	20.6%	18.3%	15.1%	7.5%	4.0%	5.8%	2.8%
千代田地区	66.8%	30.1%	22.8%	16.2%	15.9%	18.1%	12.3%	6.8%	4.0%	2.2%
（神立駅周辺）	66.5%	30.1%	21.8%	16.7%	15.8%	18.4%	13.2%	7.5%	3.0%	2.3%
若年層	52.4%	26.7%	27.8%	18.3%	19.8%	26.7%	12.1%	5.9%	4.8%	1.8%
中高年層	67.3%	30.9%	24.9%	16.8%	20.1%	14.1%	9.6%	4.5%	4.2%	2.7%
高齢者層	72.1%	30.2%	21.9%	18.5%	13.1%	13.3%	10.8%	6.5%	4.5%	3.2%
（子育て世帯）	59.3%	26.9%	25.6%	16.0%	19.8%	29.0%	6.8%	3.7%	6.5%	2.2%

(4) 主な自由記述

【公共施設・都市施設の整備・活用】

- ・図書館の整備（千代田地区）
 - ・市民会館の整備
 - ・道の駅の整備
 - ・スポーツ、文化、コミュニティ等の複合施設の整備
 - ・地域コミュニティの場の形成
 - ・市営葬儀場の整備
 - ・公民館、コミュニティーセンターの活用
 - ・廃校のコミュニティ施設としての活用
 - ・公共施設のトイレの洋式化、ウォシュレットの導入
- など

【商業・活性化】

- ・スーパー銭湯や温泉施設の誘致
 - ・スポーツ施設やフィットネスの誘致
 - ・食料品店、スーパーマーケットの誘致
 - ・飲食店の誘致
 - ・大型商業施設の誘致
 - ・神立駅周辺の整備と活性化
 - ・商業施設の集中化
 - ・スポーツイベントの活性化
 - ・自転車レースの開催地反対
 - ・活気あるまちづくり
 - ・人々が集まる工夫
 - ・食のイベント、朝市、バザー等の開催
 - ・若手主催の市民が楽しめるイベントの実施
 - ・千代田地区でのイベントの実施
- など

【雇用・産業】

- ・雇用創造
 - ・産業振興
 - ・企業や工場、働く場所の誘致
 - ・雇用創出、高収入を得られる職場の誘致
 - ・自然を生かして健康に結び付く産業の創出
 - ・農業以外の産業の促進
- など

【子育て・教育】

- ・少子化対策の拡充
 - ・子育てママ向けの相談窓口等支援
 - ・子育て施設・保育施設の充実
 - ・子育て世代への税金等の優遇
 - ・安心して子育てできる環境づくり
 - ・駅前に子どものための施設整備
 - ・教育環境の充実
 - ・JAXA や国土地理院などの教育への活用
 - ・通学路の整備、安全を確保
 - ・学区の見直し、近距離通学を維持
 - ・大学や専門学校の誘致
 - ・県内大学への通学交通費補助の導入
- など

【高齢化社会】

- ・高齢者の住みやすいまちづくり
 - ・高齢福祉の支援充実
 - ・福祉施策はほぼ充実しているため、一部施策の廃止
 - ・介護施設の充実
 - ・福祉施策よりも子育て施策を優先
 - ・買物支援、移動販売車等の充実
 - ・一人暮らし高齢者の生活支援
 - ・国民年金者の生活支援
 - ・ごみ捨ての補助
 - ・高齢者の住宅支援（空き家活用）
 - ・健康相談窓口等の設置
 - ・高齢者コミュニティの場の形成
 - ・トイレの水洗化
 - ・高齢者の生きがいづくり
 - ・高齢者雇用企業の誘致
 - ・高齢者のマナーアップ教室
 - ・介護に近隣の住民の協力
- など

【医療・福祉】

- | | | |
|--------------------|-------------------------|----|
| ・医療・福祉の充実 | ・石岡市と共同での緊急医療に対応した病院の設置 | |
| ・病院内に地域コミュニティの場づくり | ・産婦人科の充実 | |
| ・陣痛タクシーの整備 | ・内科の充実 | |
| ・小児科の充実 | ・食育、予防医学の充実 | |
| ・在宅医療体制の充実 | ・予防接種の無料化 | |
| ・医療費の低減 | ・障がい者サポート、雇用促進 | など |

【道路整備】

- | | | |
|-------------------------|-------------------------|----|
| ・千代田庁舎、霞ヶ浦庁舎、霞ヶ浦大橋の軸の形成 | | |
| ・国道6号の渋滞緩和 | ・国道6号から354号間の道路拡充 | |
| ・生活道路整備 | ・霞ヶ浦大橋から歩崎公園までのアクセス道路整備 | |
| ・霞ヶ浦第二大橋の早期実現 | ・千代田SAの拡張、スマートインター化 | |
| ・都心からのアクセス性を向上 | ・道路の新設よりも既存の管理を優先 | |
| ・救急車両の円滑な通行の確保 | ・歩道、歩道橋の整備 | |
| ・ガードレールやミラー、信号、街灯の設置 | ・自転車道の整備 | |
| ・水たまり、溢水、冠水の対策 | ・ドライバーのマナー向上 | |
| ・交通安全 | ・緑や並木道の整備 | など |

【公共交通】

- | | | |
|--------------------|-------------------------|----|
| ・公共交通の充実 | ・コミュニティバスやデマンドタクシーの充実 | |
| ・乗合タクシーの維持 | ・高齢者の移動手段の確保 | |
| ・集落間の交通の便の整備 | ・路線バスの増便 | |
| ・協同病院や神立駅へのアクセス性向上 | ・バス、駐輪所等のインターネットによる情報発信 | |
| ・神立駅にエスカレーター設置 | ・常磐線発着本数増便、特急・急行停車、始発増便 | |
| ・常磐線の値下げ | ・常磐線のお得な切符の復活 | |
| ・つくばエクスプレスの延長 | ・茨城空港までモノレールの整備 | など |

【災害対策・公害対策・防犯】

- | | | |
|------------------------|------------------|----|
| ・悪臭対策（豚舎・鶏舎） | ・肥料の臭い対策（神立駅前） | |
| ・野焼きの煙や臭いの対策 | ・ごみ問題への行政指導 | |
| ・騒音対策（フィットネスクラブ） | ・騒音騒音（バイク） | |
| ・防音壁の設置 | ・防災無線の高品質化 | |
| ・防災無線の個別受信、インターネット等の活用 | | |
| ・防犯灯や街灯の整備 | ・防犯カメラの設置（神立駅周辺） | |
| ・通学路へ防犯カメラ設置 | ・夜間のパトロール強化 | |
| ・駐在所や交番の拡充 | ・外国人への対応強化 | |
| ・野良犬対策 | ・獣害（イノシシ）の対策 | |
| ・カラス対策 | ・空家の解体 | など |

【自然環境】

- | | | |
|------------------|--------------------|----|
| ・霞ヶ浦の美化・浄化 | ・空家・雑草整理、美化 | |
| ・かすみがうらの自然や水を生かす | ・山間部の整備 | |
| ・自然の保護 | ・荒地の活用 | |
| ・農業環境の維持とその啓蒙 | ・雑木林整備（牛渡地区） | |
| ・地域資源・自然環境の保全 | ・工事は自然を保全しつつ行ってほしい | など |

【観光】

- | | | |
|------------------|---------------|----|
| ・テーマパークの整備 | ・観光施設の整備 | |
| ・B級グルメの開発 | ・歴史案内看板の表記見直し | |
| ・集客のためのビッグイベント開催 | ・名所づくり | |
| ・動物園の誘致 | ・観光資源の活性化 | など |

【農林漁業】

- | | | |
|-----------------------------|--------------|----|
| ・農業振興、農業の活性化 | ・市とJAと農家の共存化 | |
| ・名産品・特産品を使用した商品開発 | ・農産物のブランド化 | |
| ・おいしい食べ物のPR、魅力アピール | | |
| ・霞ヶ浦産の魚類や千代田産の農産物加工品を都市部へ周知 | | |
| ・道の駅での販売 | ・生産性の向上 | |
| ・休耕田の活用、再整備 | ・若い人への就農支援 | |
| ・田舎くらしや新規就農受け入れ環境の整備 | | など |

【市民サービス】

- | | | |
|-------------|-----------------|---------|
| ・駅前に役所の出張窓口 | ・役所の土日営業 | |
| ・行政手続きの簡素化 | ・人口の多い地域に市役所を設置 | |
| ・市政情報の発信 | ・公民館利用規制緩和 | ・税金の値下げ |
| | | など |

【住環境、定住促進】

- | | | |
|-----------------------|------------|----|
| ・若い世代が定住したいと思えるような取組み | | |
| ・若い人が地域に残って住み続けられる取組み | | |
| ・住宅地の整備 | ・高級住宅街の整備 | |
| ・大規模ニュータウンの整備 | ・県営、市営住宅整備 | |
| ・移住支援、住民税値下げ | ・住居間距離の維持 | |
| ・移住者への地区のルールの周知 | | など |

【公園の整備】

- | | | |
|-----------------|----------------|----|
| ・公園の整備 | ・新しい公園は不要 | |
| ・公園の美化 | ・老朽化した遊具や設備の整備 | |
| ・B&G 手入れが雑になり残念 | ・第一ひたち野公園の整備 | など |

【まちづくり全般】

- ・自然と街並みの調和したまちづくり
- ・調和のあるまちづくり
- ・活気あるまちづくり
- ・安全で人にやさしいまちづくり
- ・ドイツを参考にしたまちづくり
- ・市民1人1人に寄り添ってくれるまちづくり
- ・毎日が安心して生活できるような明るい便利なまちづくり
- ・人がいて元気なまちづくり
- ・人が集まるまちづくり
- ・市を誇りに思える取組、帰りたいふる里のまちづくり
- ・どの世代にも満足と幸福感のあるまちづくり
- ・土浦市、石岡市等との合併
- ・調整区域の撤廃
- ・都市計画税の早期導入
- ・開発計画の提示
- ・合併したものの、千代田町に偏りすぎている
- ・人口が多い所は活性させるのは悪循環
- ・人口のバランスの是正
- ・観光客や移住者を歓迎する姿勢
- ・ボランティアの活用
- ・リタイア層の活用
- ・ゴミ捨て場増設
- ・水道民営化に反対
- ・下水道の整備
- ・下稻吉の地番変更
- など

【市政等に対する批判・提言】

- ・市が目指す方向性やビジョンの明確化
- ・まちづくり計画会議への住民参加の促進
- ・市長の行政に期待
- ・市長の存在が希薄、具体的な動き見えない
- ・日々進歩していて意欲がうかがえる、これからも頑張ってください
- ・職員の専門性活用
- ・市役所窓口職員の人材育成
- ・職員の勤務態度の向上
- ・職員が多すぎる
- ・議員削減
- ・歳出の削減
- ・税金の無駄遣いをやめる
- ・市の幹部が現場視察に行くことが多い
- ・市役所の照明が明るすぎてもったいない
- ・税収入の増加の取組みを優先
- ・旧かすみがうら町役場に福祉課を設置
- ・過去の提言内容が実現していない
- ・社会的弱者の立場での政策を行う
- ・市民の立場に立った取組み
- ・思い切った独自の政策を実施
- ・婚活支援
- ・差別の解消
- など

【本アンケートに対する批判・提言】

- ・アンケート結果をもとにした着実な取組みの実施
- ・このアンケートのように市民の声を聞くことが大切
- ・アンケートが長い、謝礼を設ける
- ・買回品の質問が答えづらい
- ・アンケートの毎年実施、即公開、活用
- ・このアンケートでは表現不可
- ・提言、アイデアがありません
- など

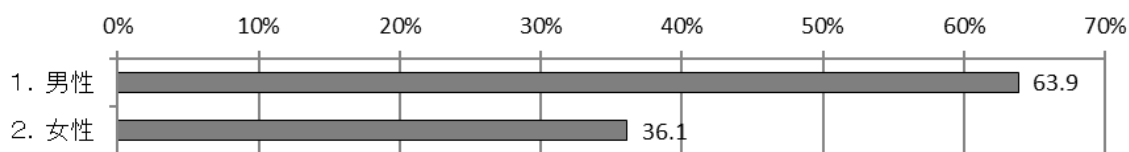
【その他】

- ・市でケーブルテレビを展開し、アンテナの廃止
- ・ペットの飼い主の教育セミナー
- ・ゆるキャラの導入
- など

(5) 回答者の属性について

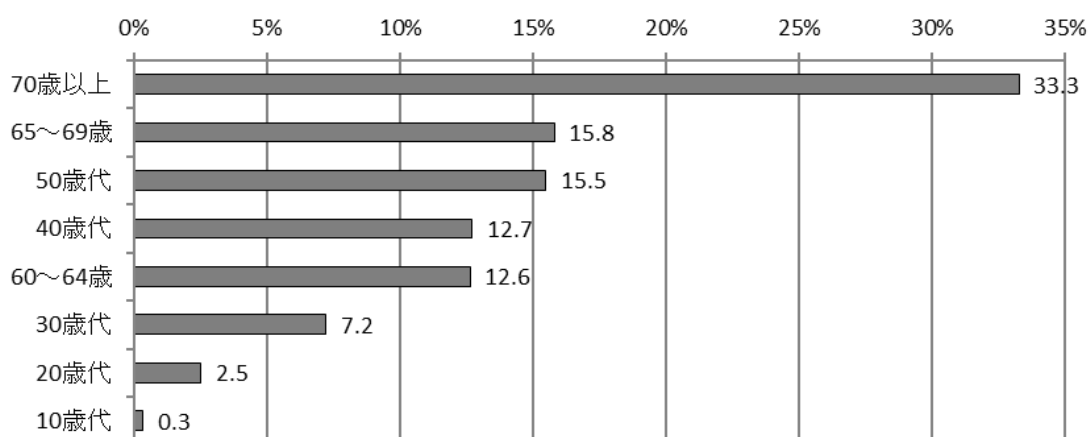
① 性別

回答者の性別については、「男性」が63.9%で、「女性」が36.1%である。



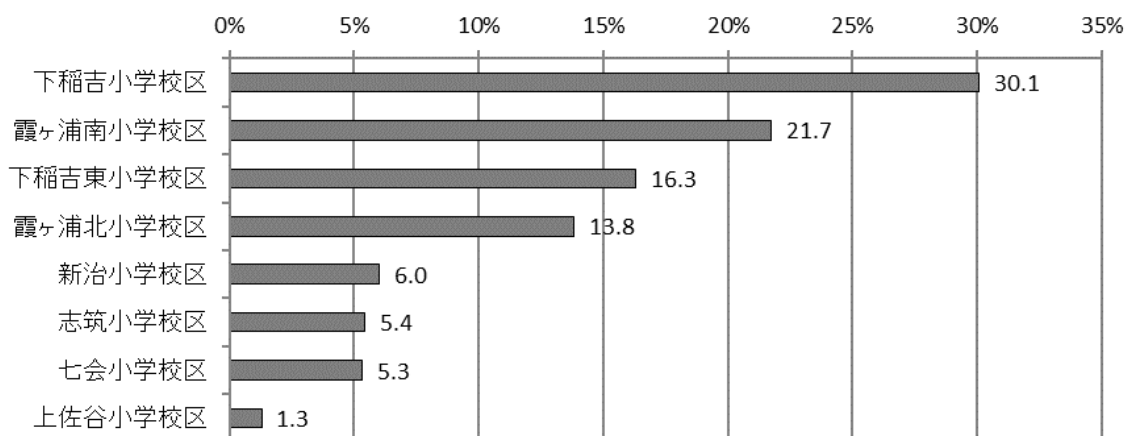
② 年齢

回答者の年齢層については、「70歳以上」が33.3%と最も多く、次いで「65～69歳」が15.8%、「50歳代」が15.5%の順となっている。



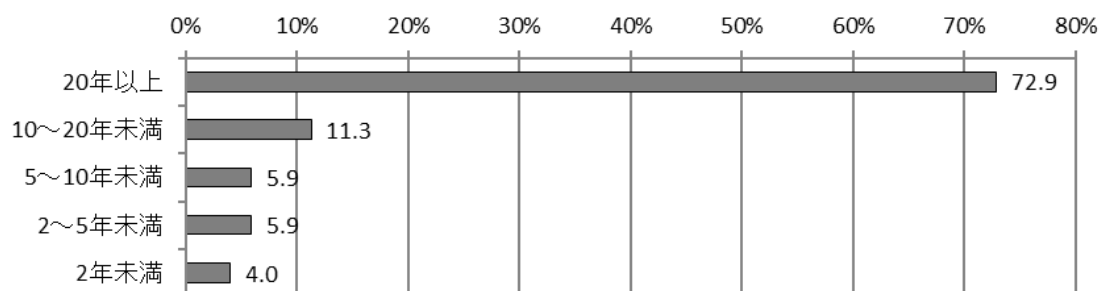
③ 居住地区（小学校地区）

回答者の居住地区については、「下稲吉小学校地区」が30.1%で最も多く、次いで「霞ヶ浦南小学校地区」が21.7%、「下稲吉東地区」が16.3%の順となっている。



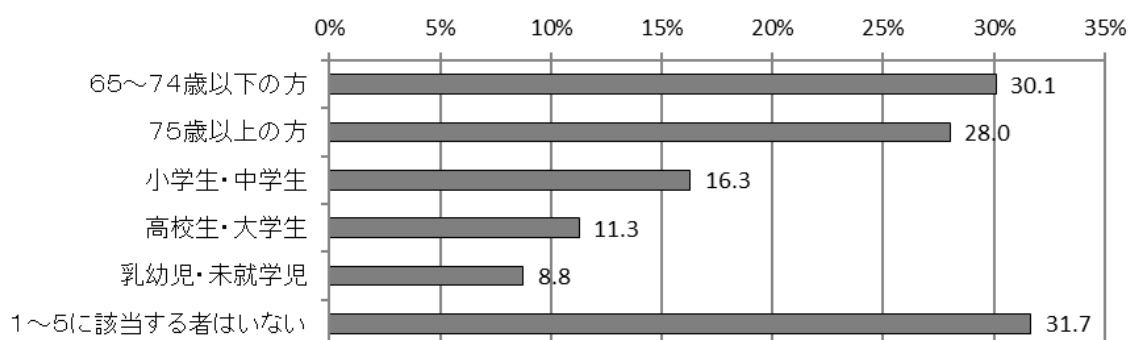
④ 居住年数

回答者の居住年数については、「20年以上」が72.9%と7割を占め、次いで「10～20年未満」が11.3%、「5～10年未満」が5.9%となっている。



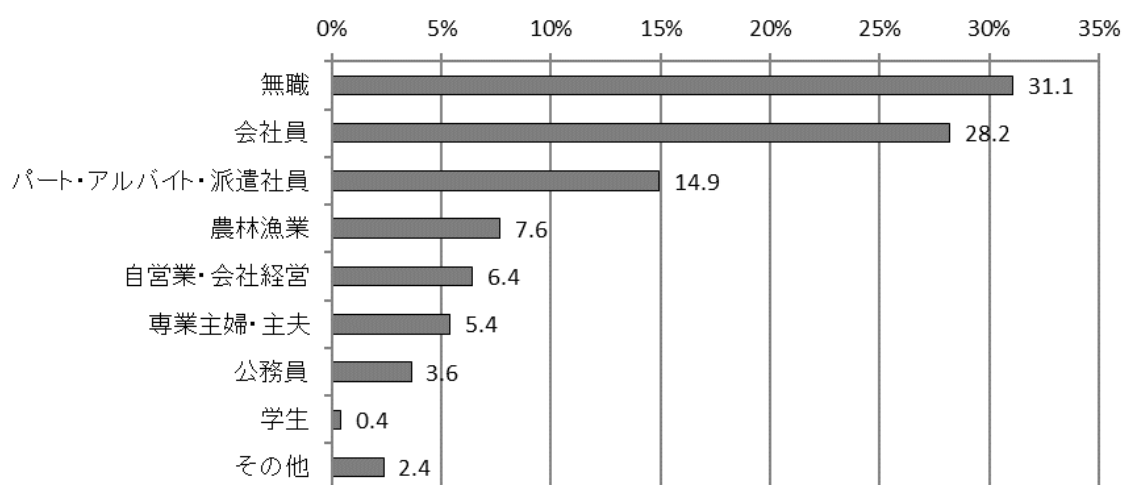
⑤ 家族構成

回答者の家族構成をみると、「1～5に該当する者はいない」が31.7%で最も多く、次いで「65～74歳以下の方」が30.1%、「75歳以上の方」が28.0%の順となっている。



⑥ 職業

回答者の職業については、「無職」が31.1%と最も多く、次いで「会社員」が28.2%、「パート・アルバイト・派遣社員」が14.9%の順となっている。



⑦ 住宅

回答者が住んでいる住宅については、「持ち家一戸建て」が84.9%で8割を超え、次いで「賃貸のマンション・アパート」が8.1%となっている。

